第３９回　県政世論調査

単純集計結果

平成２８年７月実施

岐阜県

目　　次

Ⅰ　調査概要 1

１．１　調査の目的 1
１．２　調査の経緯 1
１．３　調査項目 1
１．４　調査の設計 1
１．５　回収結果 1
１．６　標本誤差 2
１．７　報告書の見方 2
１．８　対象者の属性 3

Ⅱ　調査結果 8

２．１　くらしについて 8
問１　くらしの前年比較 8
問１－２　くらしが苦しくなったと感じる理由 9
問２　くらしの満足度 11
問３　生活面での不安 12
問４　今後のくらしの中で重視していきたいこと 14
問５　生活に必要な情報の入手媒体 16
問６　現在住んでいる地域は住みやすいか 18
問６－２　住んでいる地域が住みやすいと感じる点 19
問６－３　住んでいる地域が住みにくいと感じる点 21
問７　今後も岐阜県に住み続けたいか 23

２．２　県の取り組み全般について 24
問８　施策や事業についての情報の入手方法 24
問９　特に重要だと思う県の施策 26
問１０　県事業への関心の有無 28
問１０－２　県事業に関心がない理由 29
問１１　県の取り組みでよくやっていると思う分野 30
問１２　県の取り組みで努力が足りないと思う分野 31
問１３　「清流の国ぎふ」をキーワードとした施策の取り組み 32

２．３　生活を取り巻くさまざまな課題について.....33
問１４　「高齢者」「障がい者」に対する福祉サービスの不足.....33
問１４-２　不足している「高齢者」「障がい者」に対する福祉サービス34
問１５　地域全体で子育てを支える環境の整備 35
問１６　過去１年間に犯罪にあったこと、危険を感じたことの有無.....36
問１７　社会貢献活動への参加.....37
問１８　在住外国人との共生.....38
問１９　スポーツやレクリエーションをする頻度.....39
問１９－２　スポーツやレクリエーションをしなかった理由.....40
問２０　興味のあるスポーツやレクリエーション.....41
問２１　スポーツやレクリエーションに期待する効果.....42
問２２　雇用対策の取り組み.....43
問２３　農産物購入時の「県内産」の意識.....44
問２４　「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度.....45
問２５　災害や緊急時の備え.....46
問２６　防災対策や避難行動の情報源 47
問２７　避難情報に対する行動について.....49
問２８　災害や緊急時の現在できている備え 50

Ⅰ　調査概要

１．１　調査の目的

県下全域の県民意識の把握とともに、県行政の各施策に対する県民の関心、満足度等を調査し、県政推進の基礎資料とする。

１．２　調査の経緯

昭和４２年から実施、今回３９回目

※昭和 42 年～昭和 61 年：毎年実施　　昭和 63 年～平成 18 年：隔年実施　　平成 20 年～：毎年実施

１．３　調査項目

（１）くらしについて
（２）県の取り組み全般について
（３）生活を取り巻くさまざまな課題について

１．４　調査の設計

（１）調査地域　　岐阜県全域
（２）調査対象　　県内に居住する満１８歳以上の男女個人
（３）標本数　　３，０００人
（４）抽出方法　　層化二段無作為抽出法
（５）調査方法　　郵送法
（６）調査時期　　平成２８年６月２９日～７月１５日
（７）調査実施機関　　株式会社　テイコク

１．５　回収結果

	調査時期	標本数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B／A)	有効回答率 (C／A)
第３9回 (平成２８年度)	平成２８年 7月	3,０００	1,５３３	1,５３３	５１．1%	５1.1%
第３8回 (平成２７年度)	平成２７年 7月	3,０００	1,５１２	1,５０７	５０.４%	５０.２%
第３7回 (平成２６年度)	平成２６年 7月	3,０００	1,６５０	1,６４８	５５.０%	５４.９%

１．６　標本誤差

調査結果には統計上多少の誤差が生じることがあるため、調査結果をみる場合、一定の幅を持たせてみる必要がある。その幅を標本誤差といい、以下の式で表される。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96\sqrt{\frac{P\,(100-P)}{n}}$$

（ただし、P：回答比率　n：回答者数）

すなわち、標本誤差の幅は①回答者数（n）及び②回答比率（P）によって異なる。上式を用いた各回答者数、回答比率における標本誤差を以下の表に示す。

		P（回答比率　%）									
	n（回答者数　人）	5 又は 95	10 又は 90	15 又は 85	20 又は 80	25 又は 75	30 又は 70	35 又は 65	40 又は 60	45 又は 55	50
総数	1,533	1.1	1.5	1.8	2.0	2.2	2.3	2.4	2.5	2.5	2.5

（注）1. 層化を行った場合、誤差は上表より若干増減することもある。
2. この表の見方は以下のとおりである。
「ある設問の回答者数が 1,533 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.5%である。」

１．７　報告書の見方

(1)　今回の調査から対象者の年齢を 18 歳以上に引き下げているため、20 歳以上を対象としていた前回までの調査との単純な比較には注意を要する。

(2)　比率は全てパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合がある。

(3)　基数となるべき実数は「n」（件数）として掲載した。したがって比率は、n を 100%として算出している。

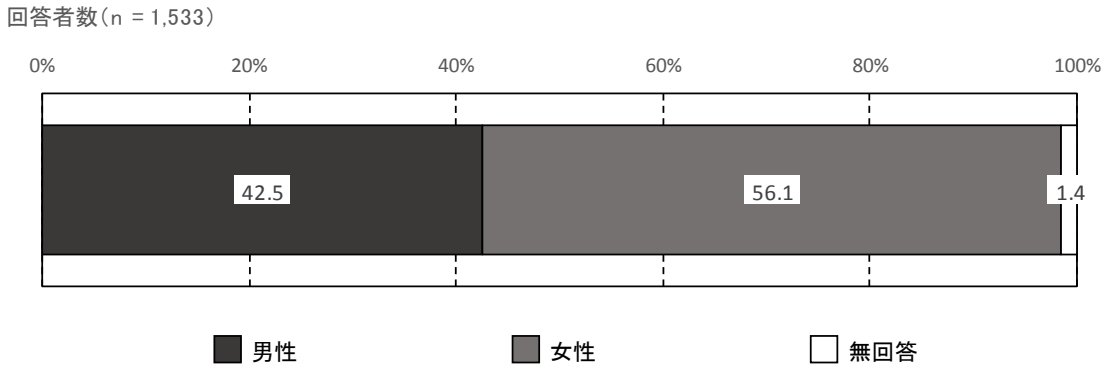
(4)　複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100%を超える。

(5)　本報告書中の表、グラフ、及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。

１．８　対象者の属性

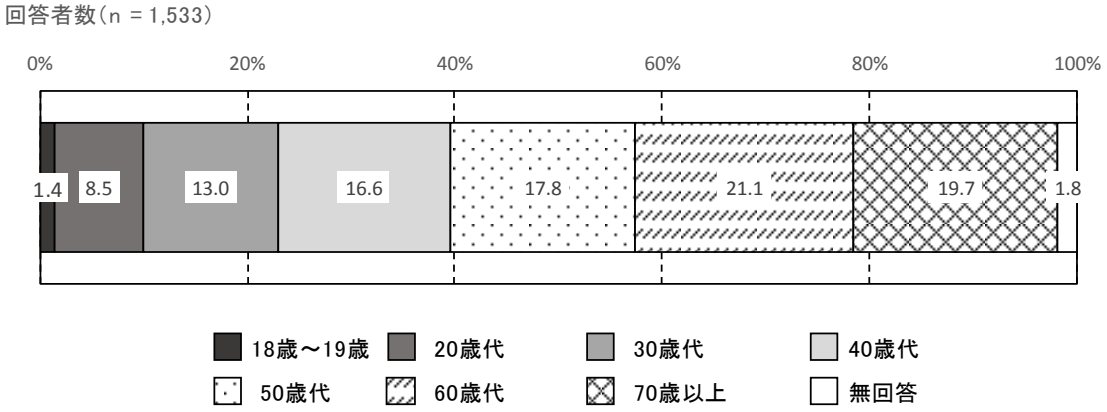
Ｆ－１　性別

図 F-1　性別



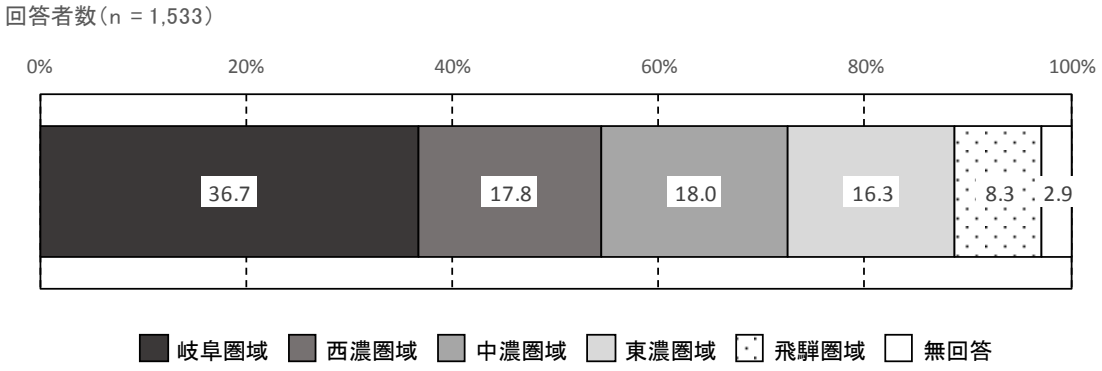
Ｆ－２　年代

図 F-2　年代



Ｆ－３　居住圏域（５分類）

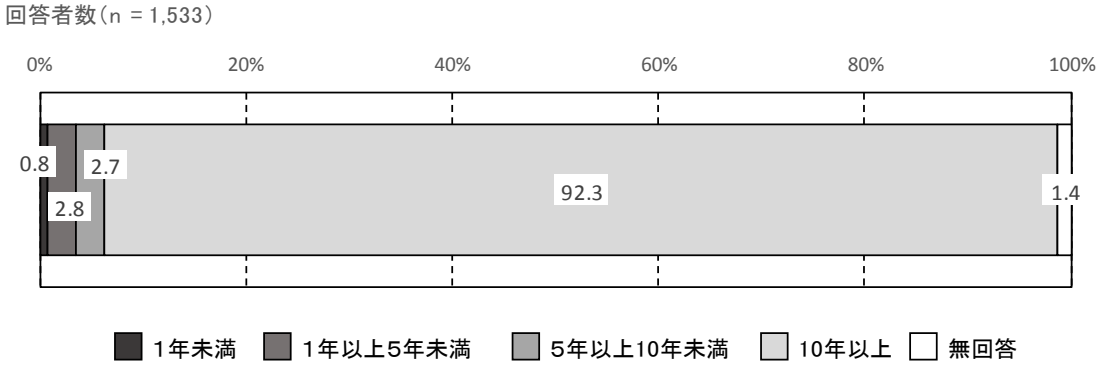
図 F-3　居住圏域（5分類）



岐阜圏域（岐阜市・羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町）
西濃圏域（大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・輪之内町・安八町・揖斐川町・大野町・池田町）
中濃圏域（関市・美濃市・美濃加茂市・可児市・郡上市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町）
東濃圏域（多治見市・中津川市・瑞浪市・恵那市・土岐市）
飛騨圏域（高山市・飛騨市・下呂市・白川村）

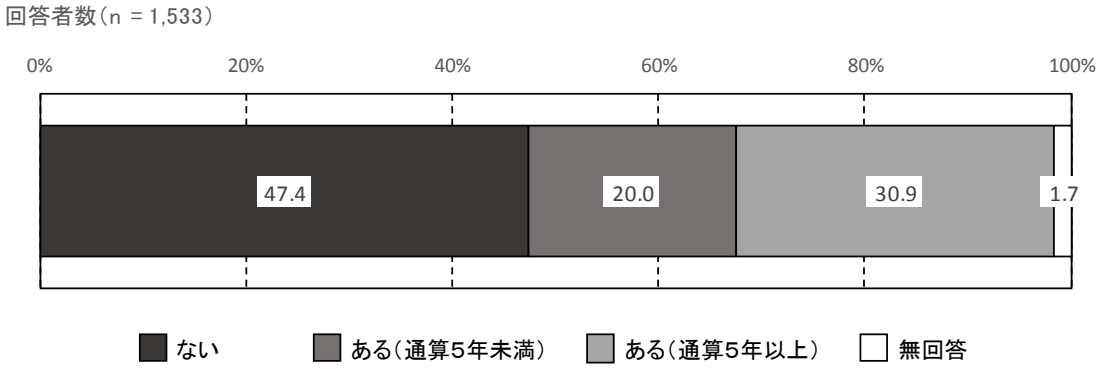
Ｆ－４　居住年数

図 F-4　居住年数



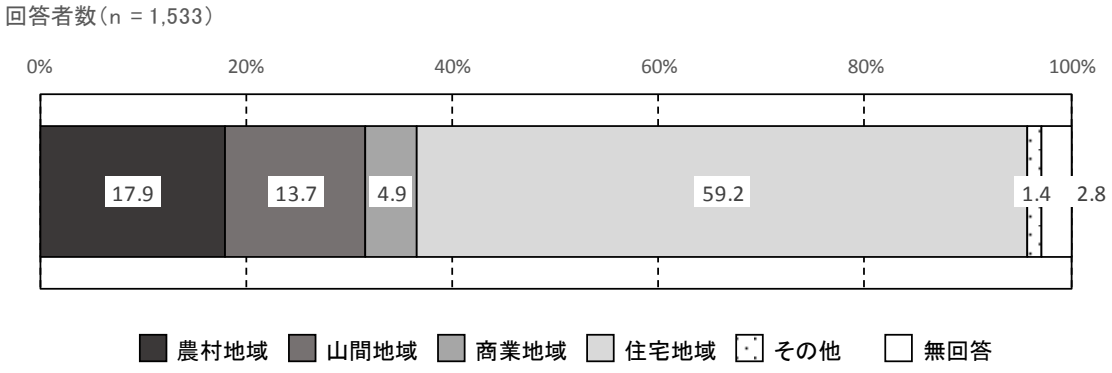
Ｆ－５　県外居住経験の有無

図 F-5　県外居住経験の有無



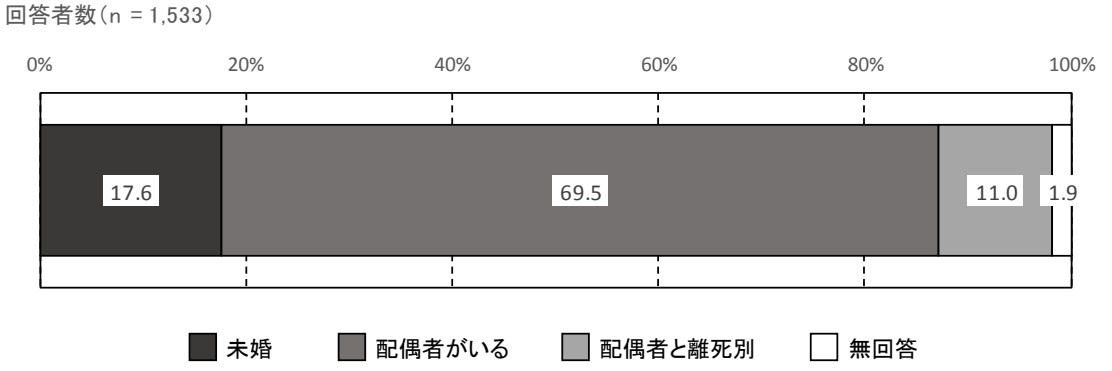
Ｆ－６　居住地周囲の環境

図 F-6　居住地周囲の環境



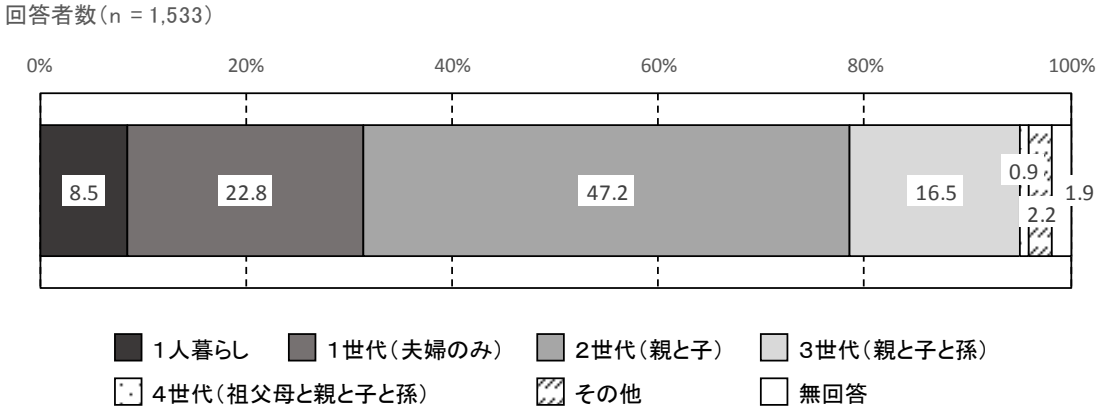
Ｆ－７　配偶者の有無

図 F-7　配偶者の有無



Ｆ－８　家族形態

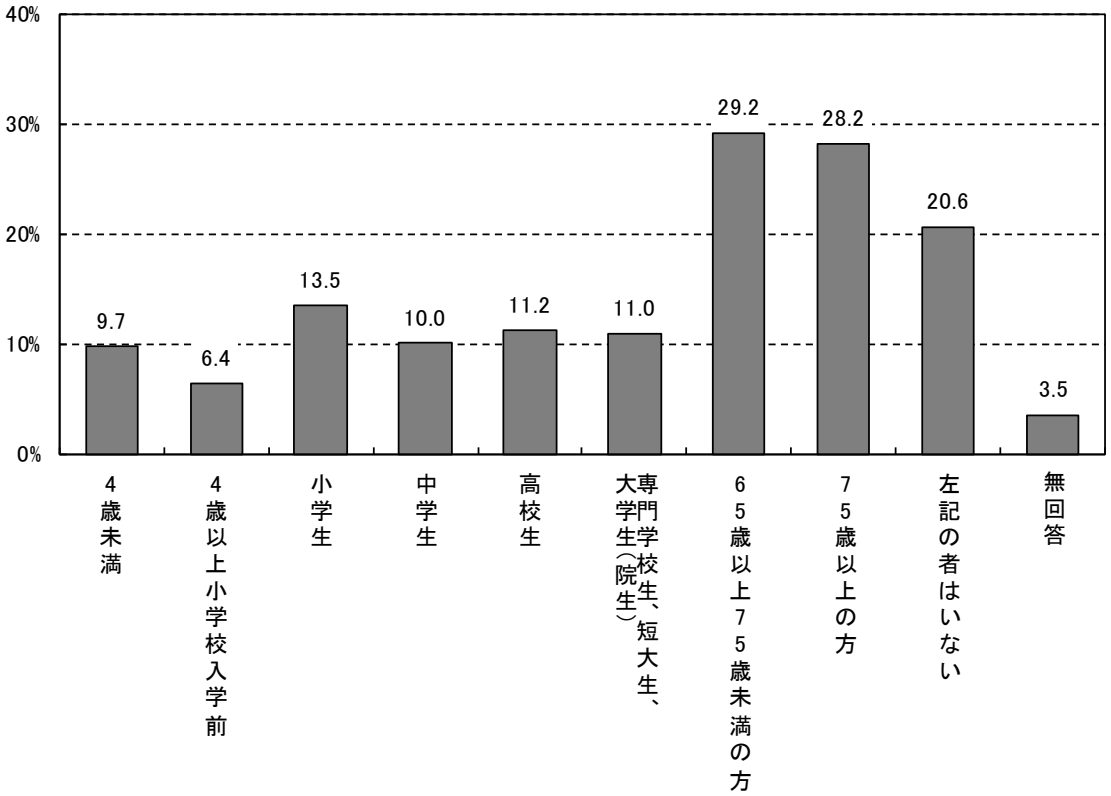
図 F-8　家族形態



Ｆ－９　家族構成

図 F-9　家族構成

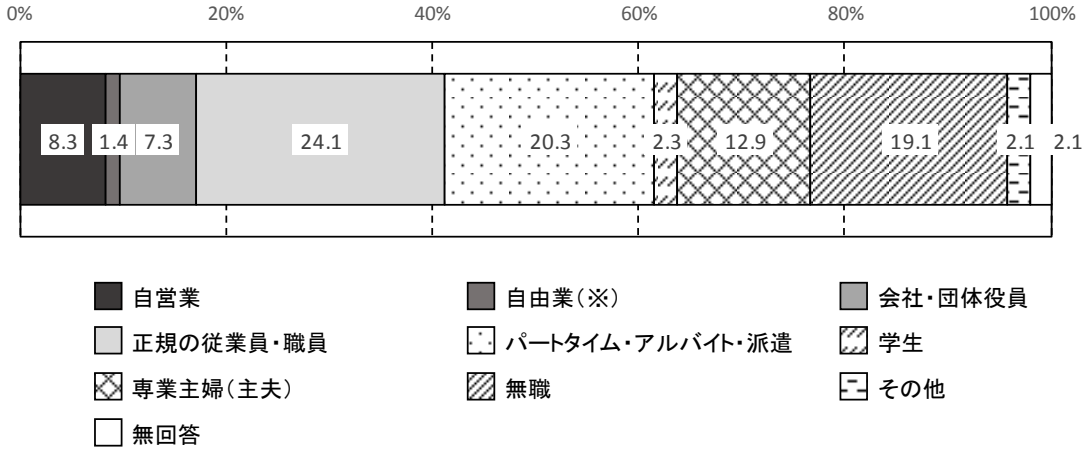
回答者数（n = 1,533）
総回答数（N = 2,198）



Ｆ－１０　職業

図 F-10　職業

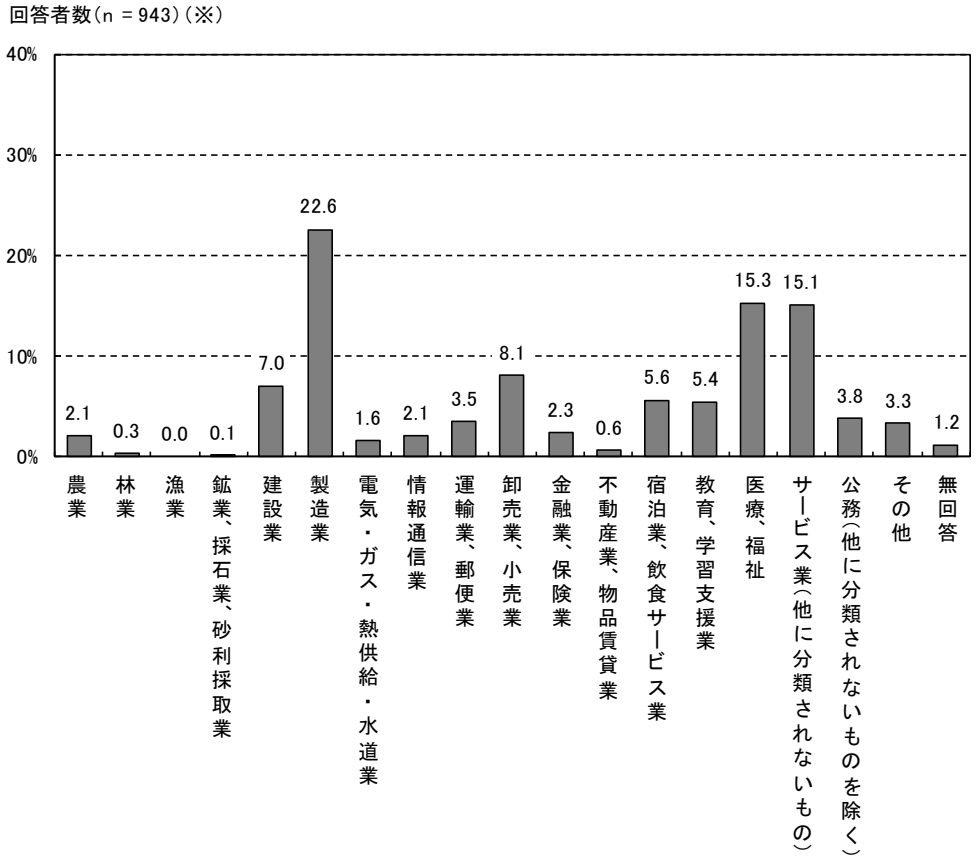
回答者数（n = 1,533）



※ 自由業：一定の雇用関係によらず、勤務時間その他の制約を受けない職業で、作家、弁護士、医師、会計士、税理士、芸術家など

Ｆ－１１　業種

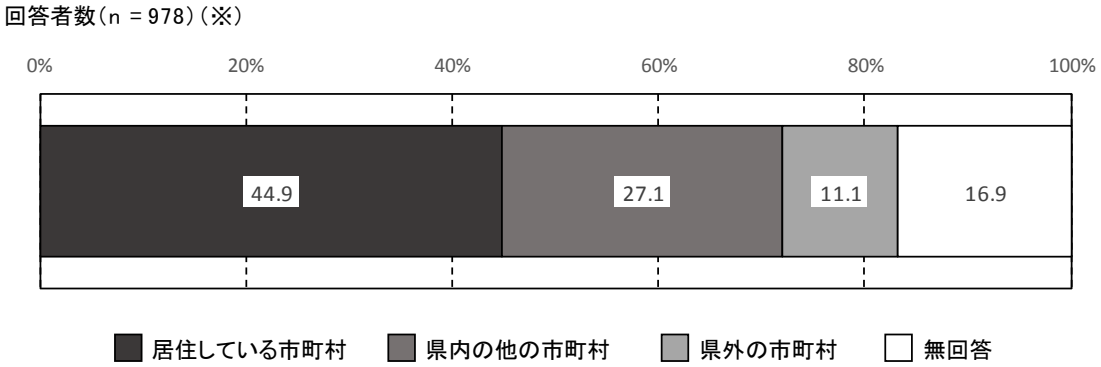
図 F－11　業種



※「F10　職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣と答えた方のみ

Ｆ－１２　通勤、通学先

図 F-12　通勤、通学先



※「F10　職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣、学生と答えた方のみ

Ⅱ　調査結果

２．１　くらしについて

問１　くらしの前年比較

問１　あなたやあなたの家庭のくらし向きは、去年の今頃と比べてどうですか。（１つだけ）

図 1-1　くらしの前年比較

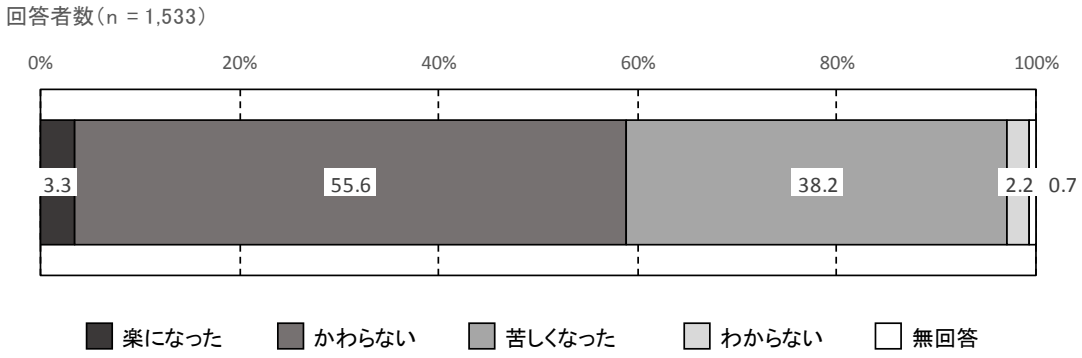
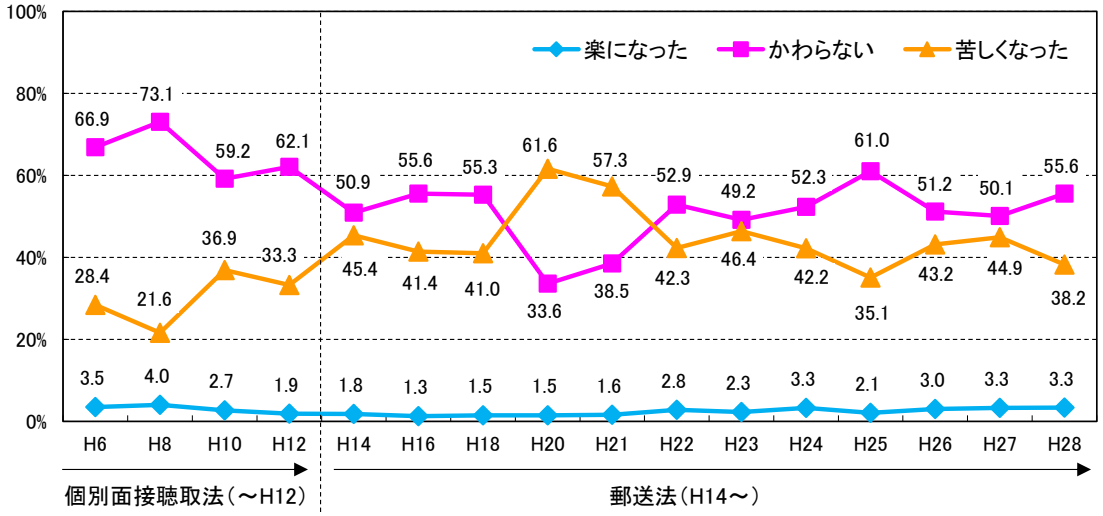


図 1-2 【経年変化】くらしの前年比較

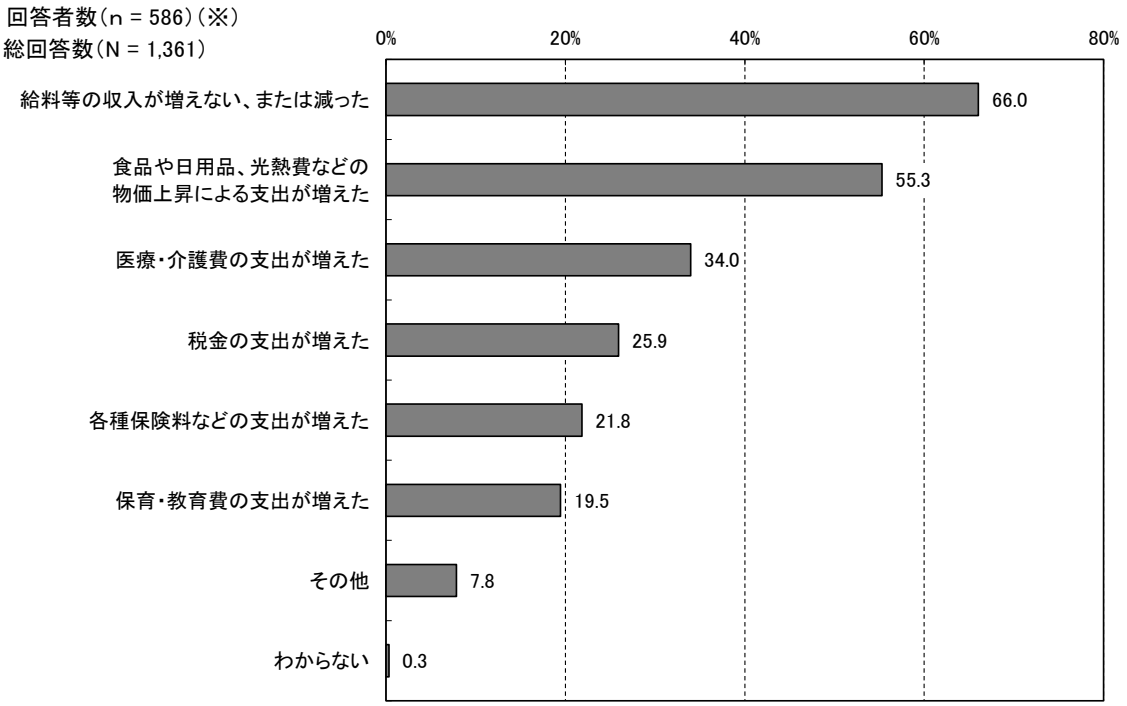


※ 調査方法：平成 12 年度まで個別面接聴取法、平成 14 年度から郵送法

問１－２　くらしが苦しくなったと感じる理由

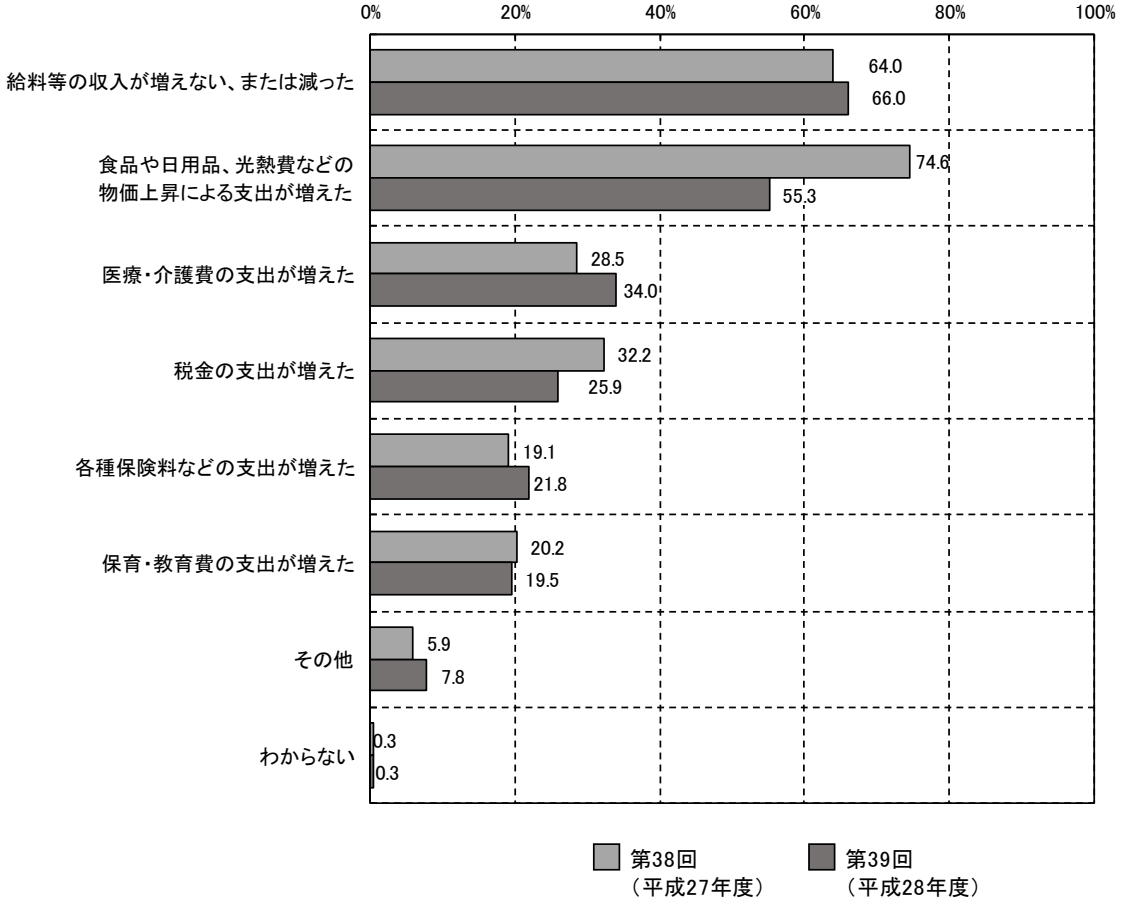
問１－２　「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。
あなたが、くらしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。
（３つまで）

図 1-2-1 くらしが苦しくなったと感じる理由



※ 問１で「苦しくなった」と答えた方のみ

図 1-2-2 【前回比較】くらしが苦しくなったと感じる理由



問２　くらしの満足度

問２　あなたは、現在のくらし全般についてどう思いますか。（１つだけ）

図 2-1　くらしの満足度

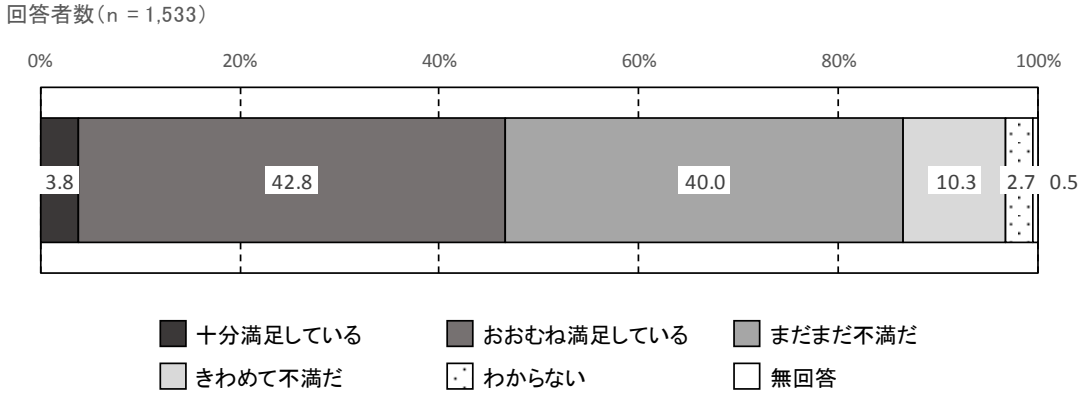
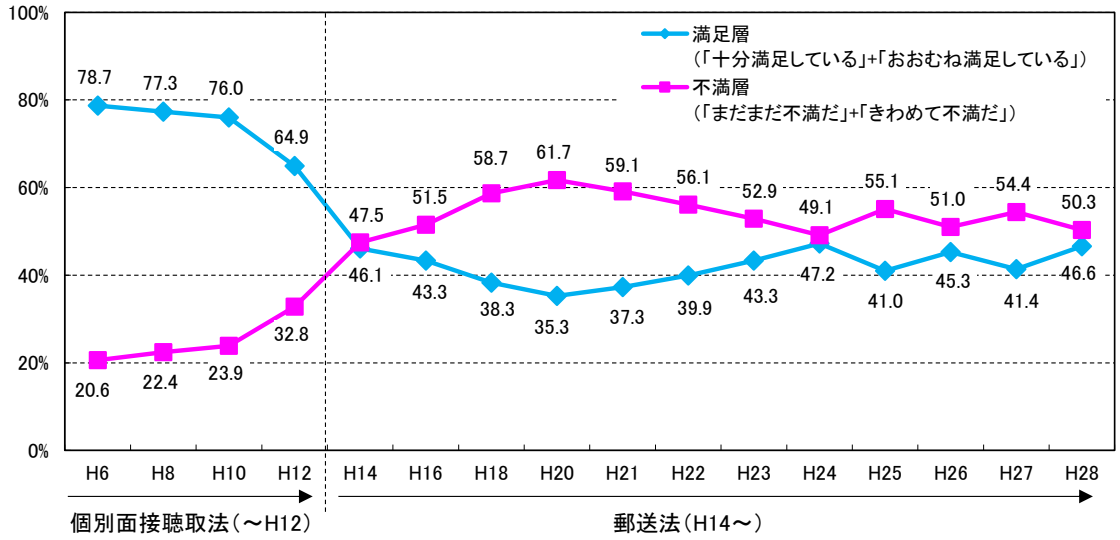


図 2-2【経年変化】くらしの満足度



※ 調査方法：平成 12 年度まで個別面接聴取法、平成 14 年度から郵送法

問３　生活面での不安

問３　あなたは、日頃のくらしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。
（３つまで）

図 3-1　生活面での不安

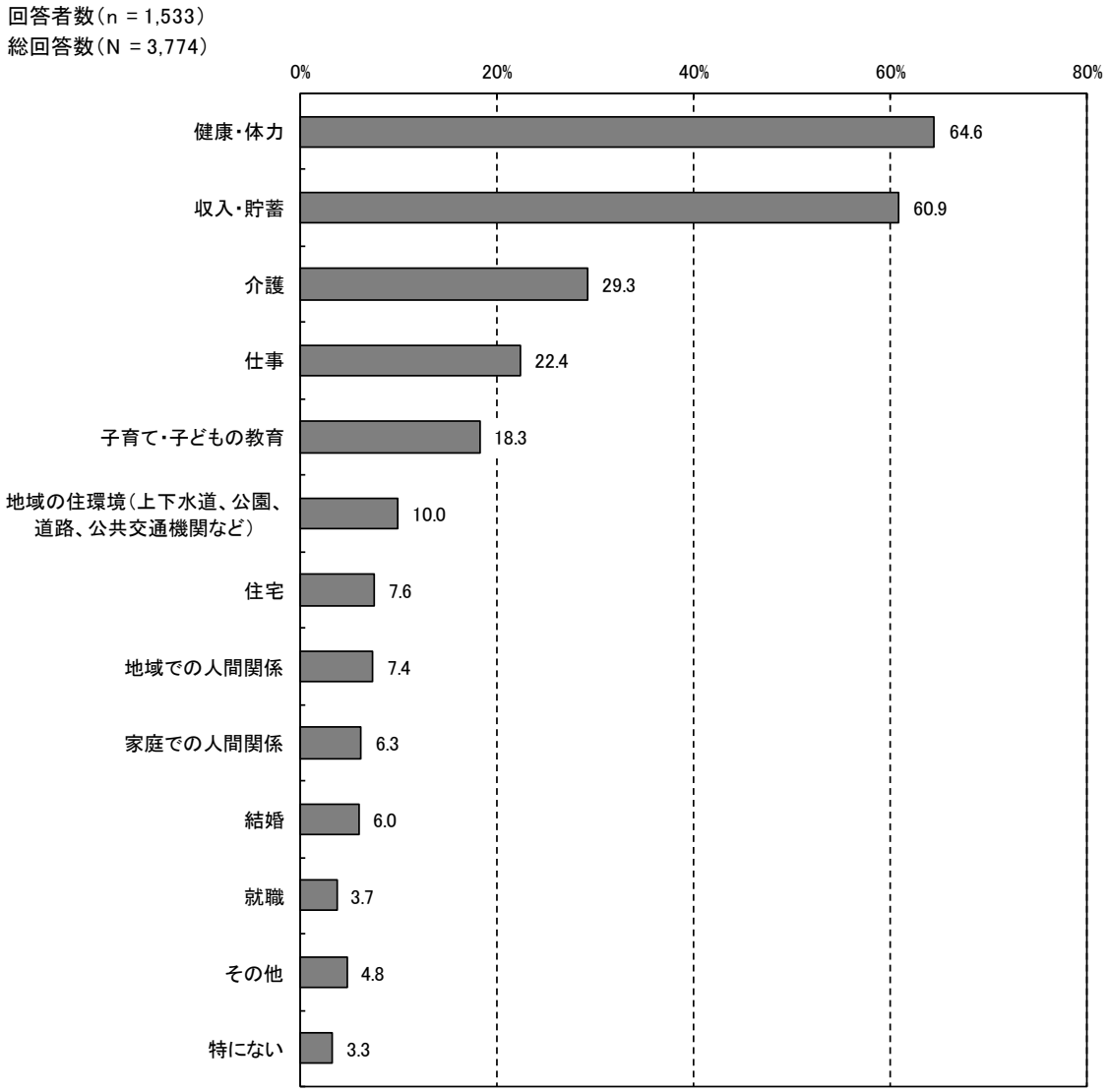
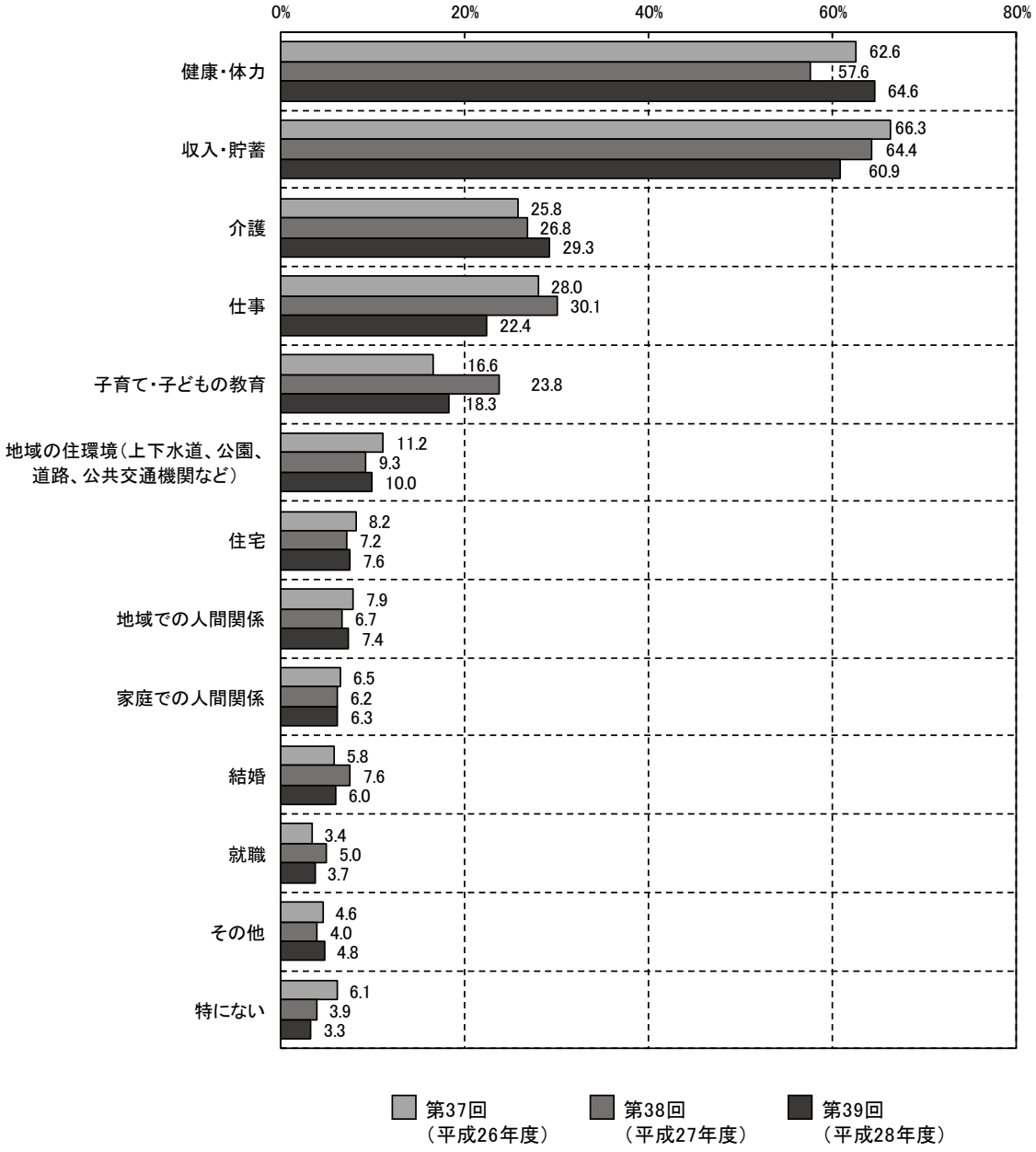


図 3-2 【前々回・前回比較】 生活面での不安



問４　今後のくらしの中で重視していきたいこと

問４　あなたが、今後のくらしの中で重視していきたいと思うことは何ですか。（３つまで）

図 4-1　今後のくらしの中で重視していきたいこと

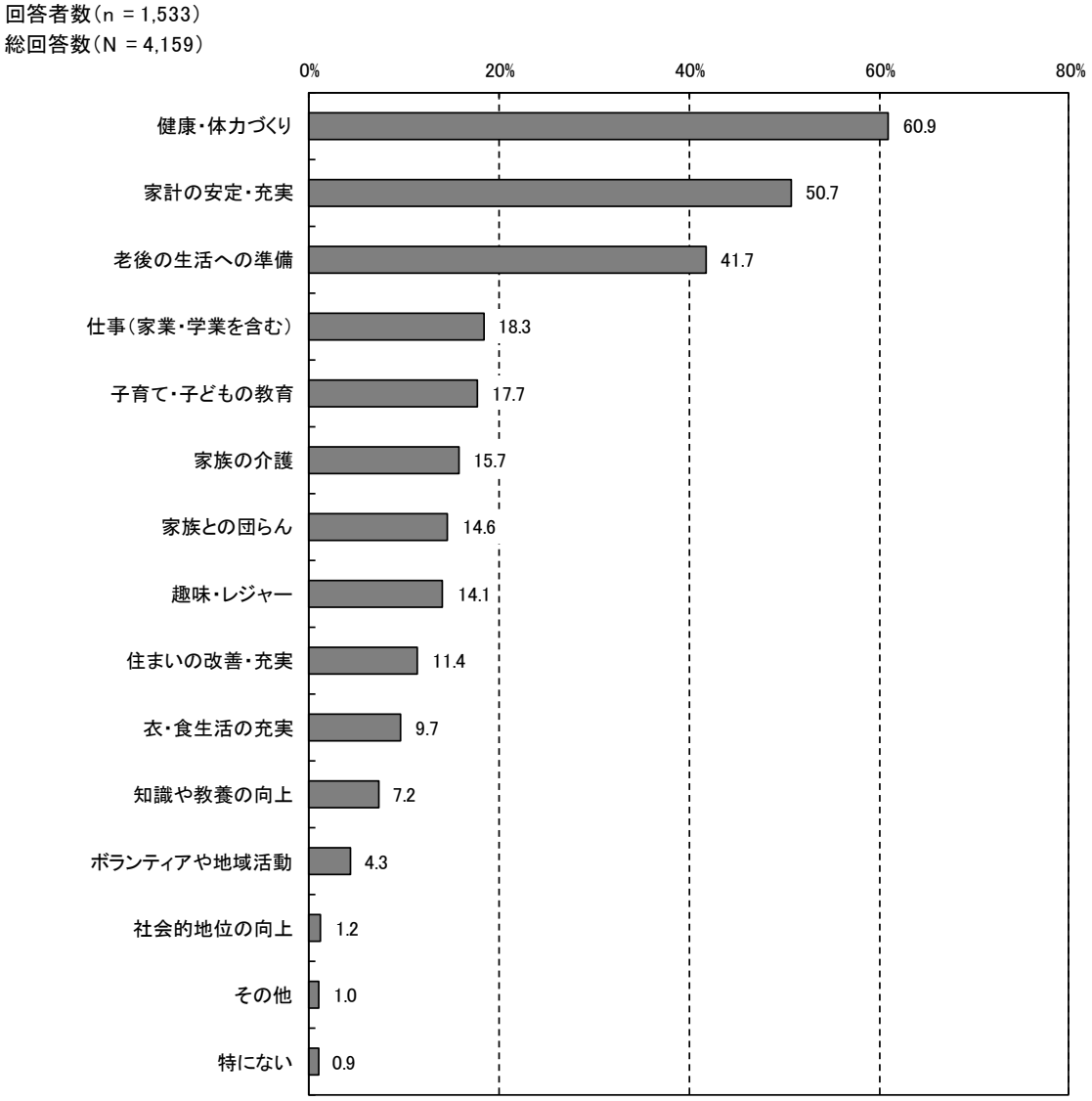
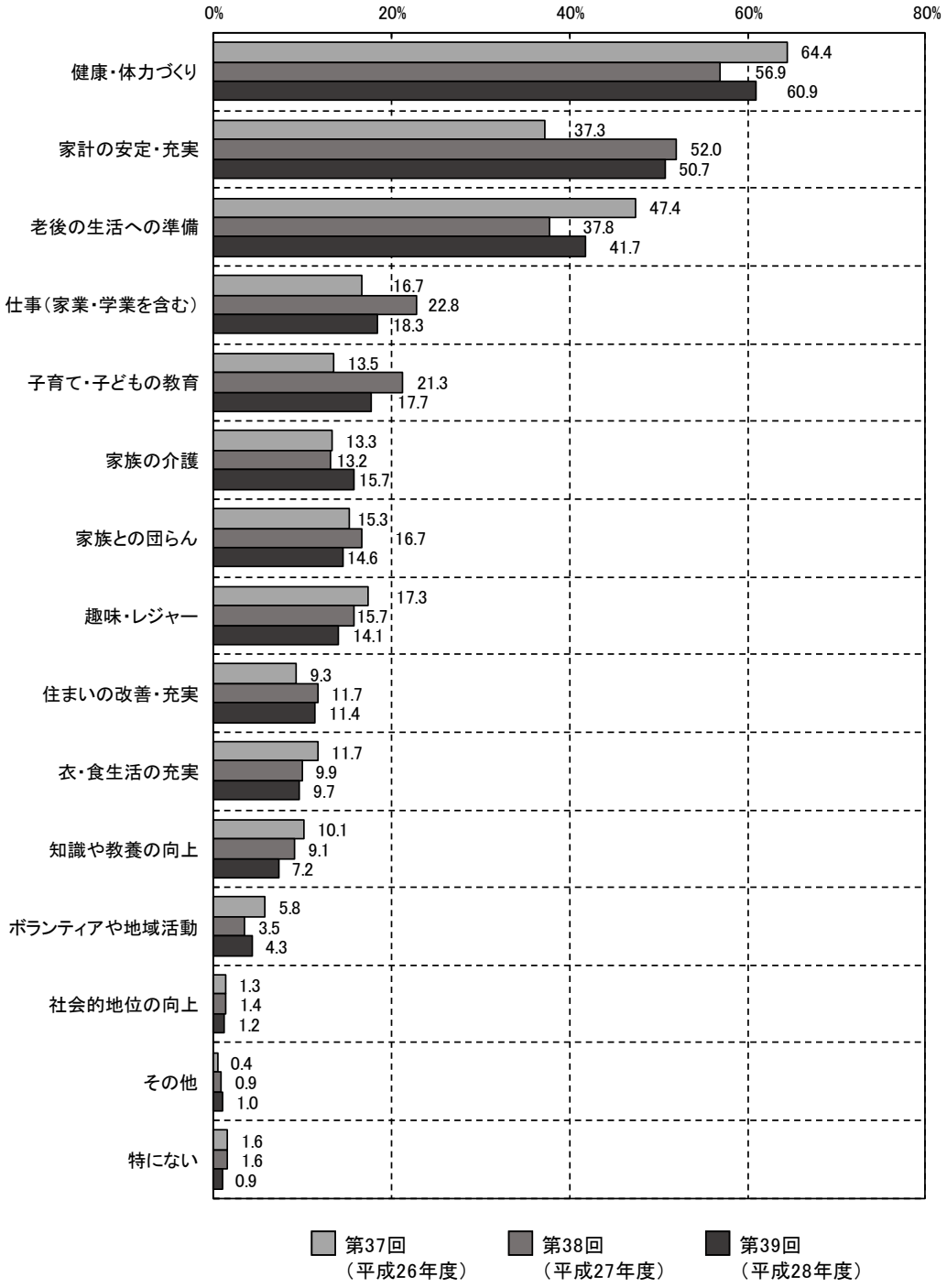


図 4-2 【前々回・前回比較】 今後のくらしの中で重視していきたいこと



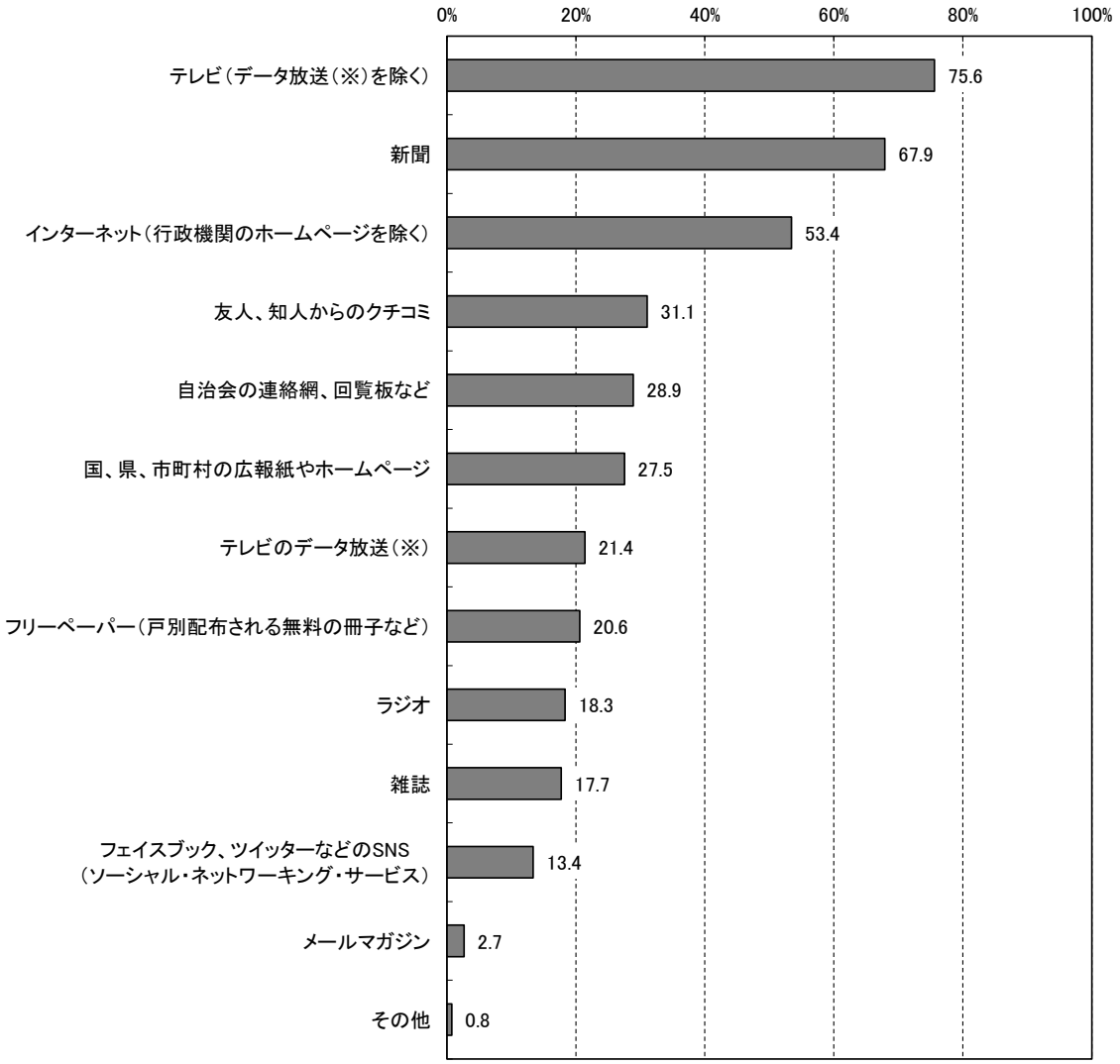
※ 選択肢、「家計の安定・充実」は、第 37 回調査では「経済的基盤の安定・充実」
※ 選択肢、「住まいの改善・充実」は、第 37 回調査では「住環境の改善・充実」

問５　生活に必要な情報の入手媒体

問５　あなたは、生活に必要な情報を何から得ていますか。（いくつでも）

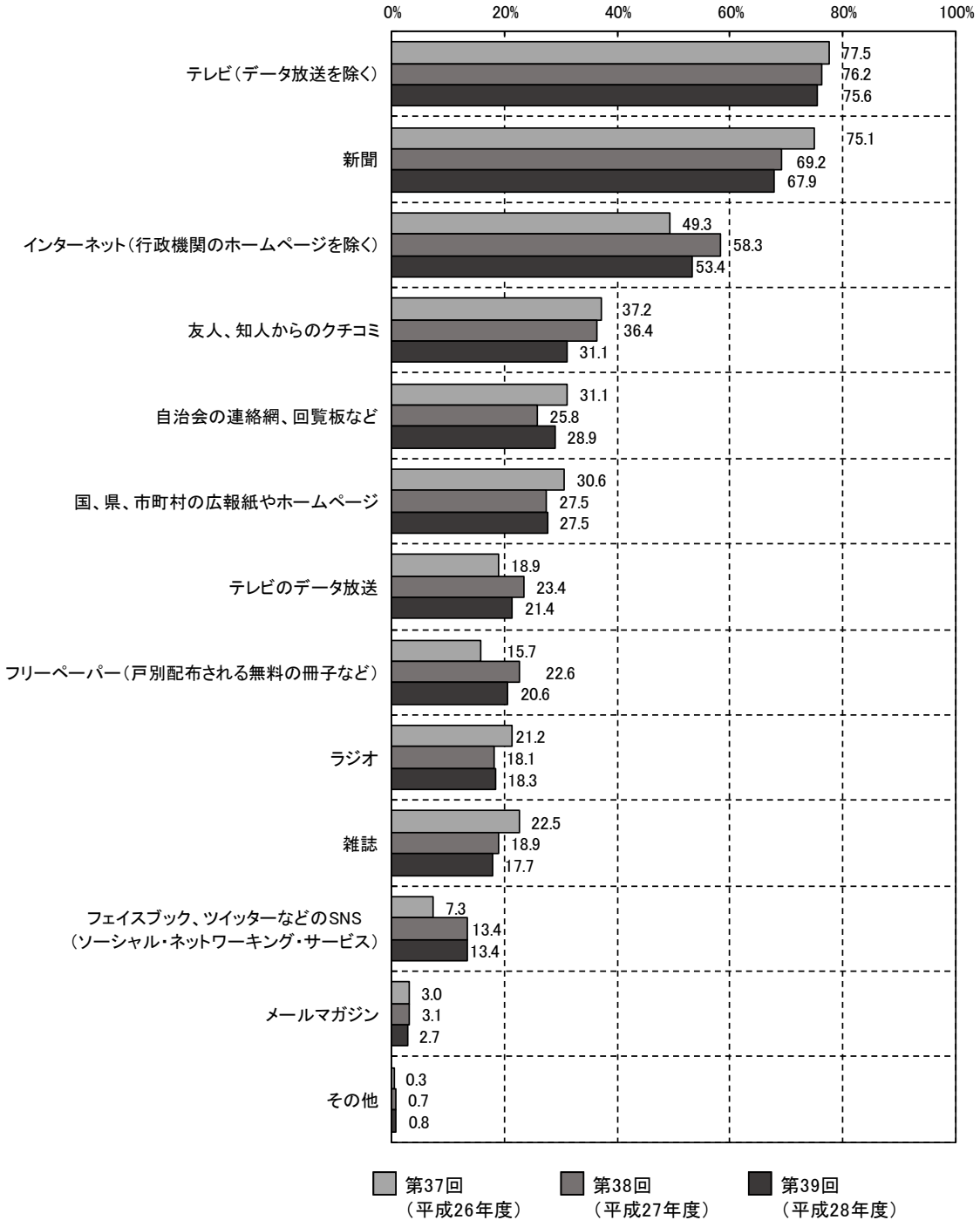
図 5-1　生活に必要な情報の入手媒体

回答者数（n = 1,533）
総回答数（N = 5,831）



※ データ放送：リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

図 5-2 【前々回・前回比較】 生活に必要な情報の入手媒体



※ 選択肢、「フリーペーパー」は、第 37 回調査では「フリーペーパー・フリーマガジン」

問６　現在住んでいる地域は住みやすいか

問６　あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。（１つだけ）

図 6-1　現在住んでいる地域は住みやすいか

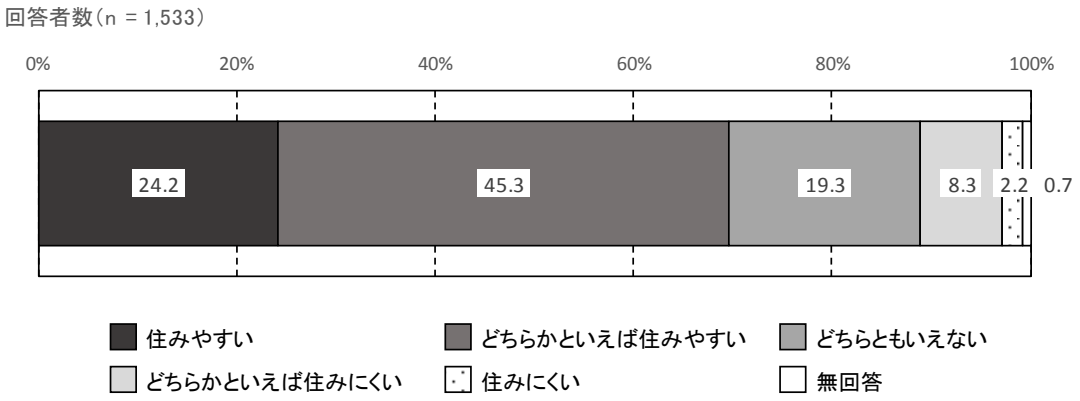
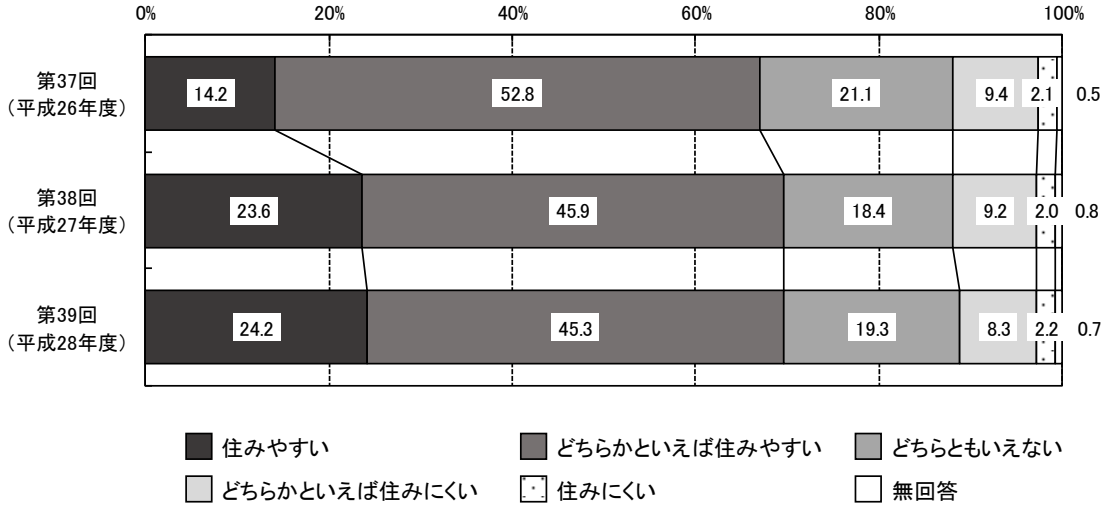


図 6-2 【前々回・前回比較】 現在住んでいる地域は住みやすいか

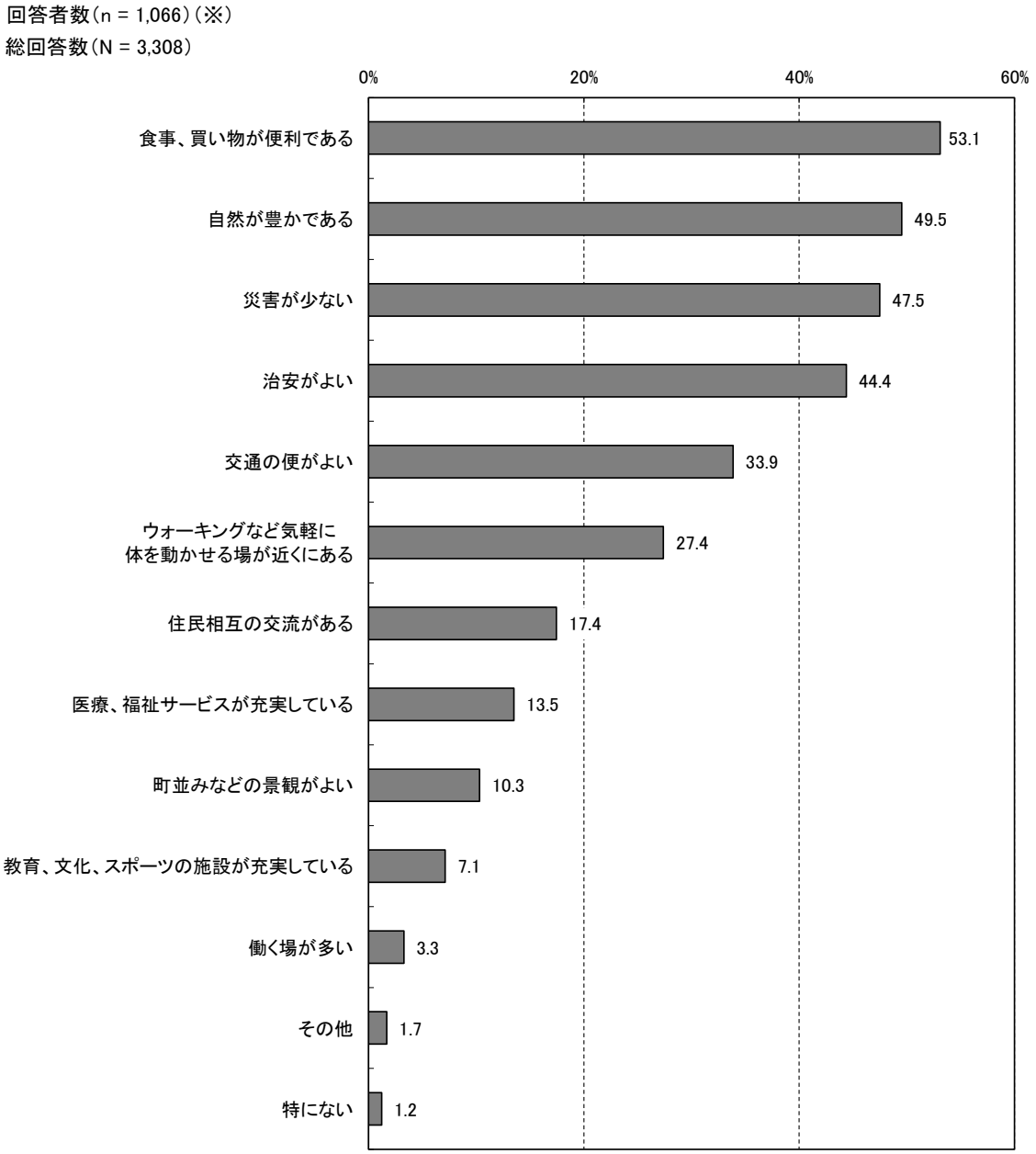


※ 選択肢、「住みやすい」は、第 37 回調査では「とても住みやすい」

問６－２　住んでいる地域が住みやすいと感じる点

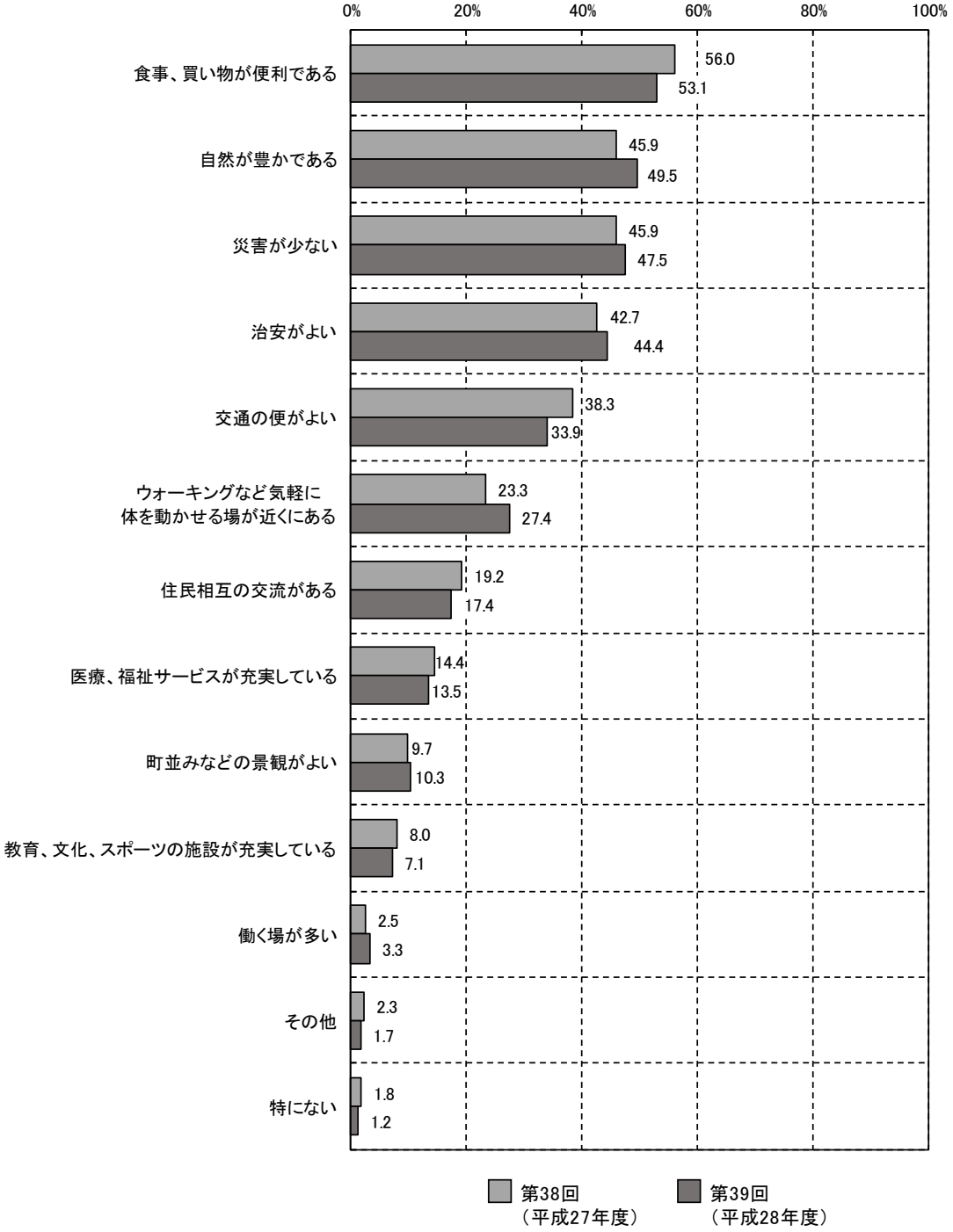
問６－２　「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方にお尋ねします。
現在お住まいの地域が住みやすいと感じるのは、特にどのような点ですか。
（いくつでも）

図 6-2-1　住んでいる地域が住みやすいと感じる点



※ 問 6 で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方のみ

図 6-2-2 【前回比較】 住んでいる地域が住みやすいと感じる点

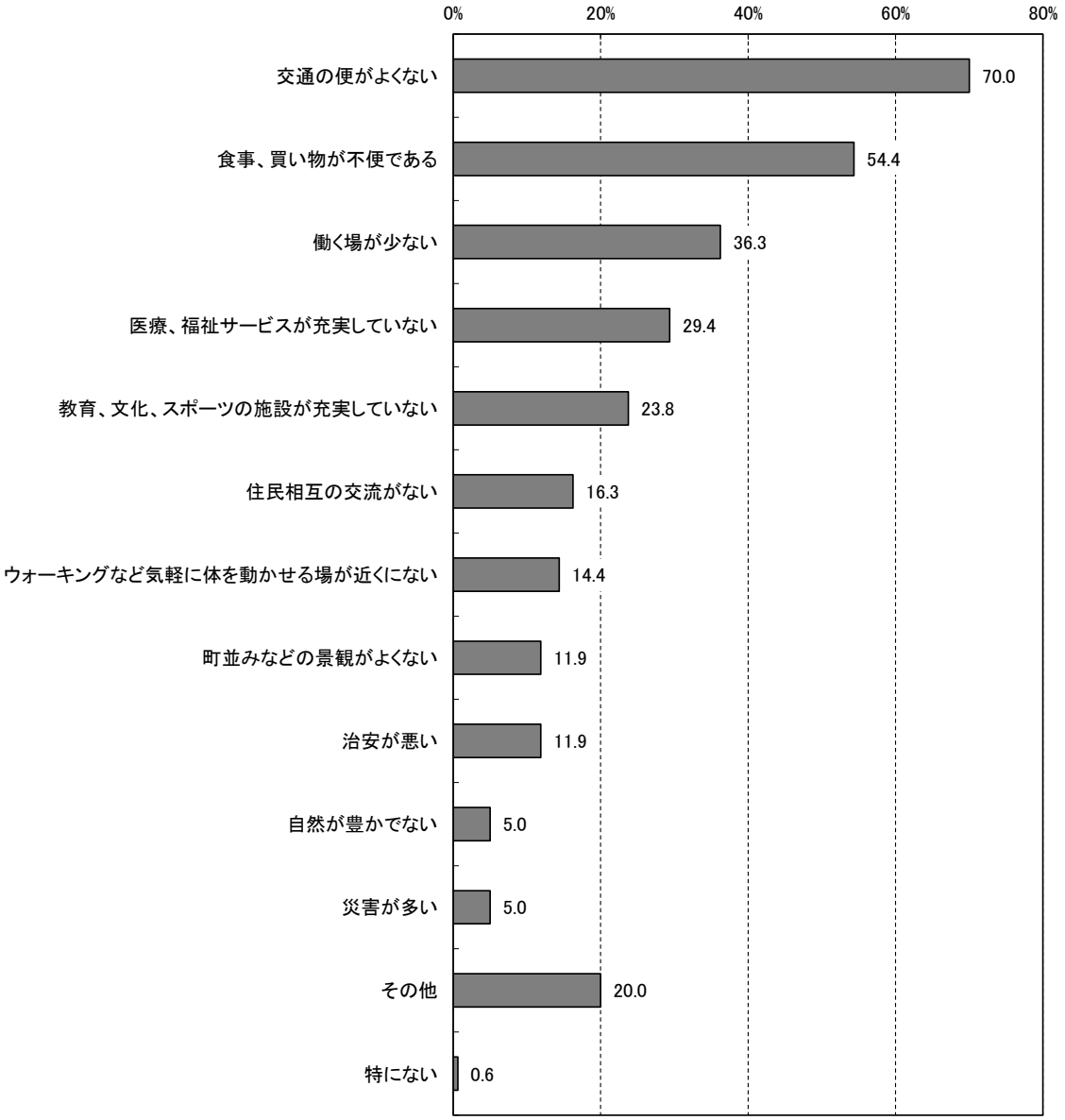


問６－３　住んでいる地域が住みにくいと感じる点

問６－３　「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方にお尋ねします。
現在お住まいの地域が住みにくいと感じるのは、特にどのような点ですか。
（いくつでも）

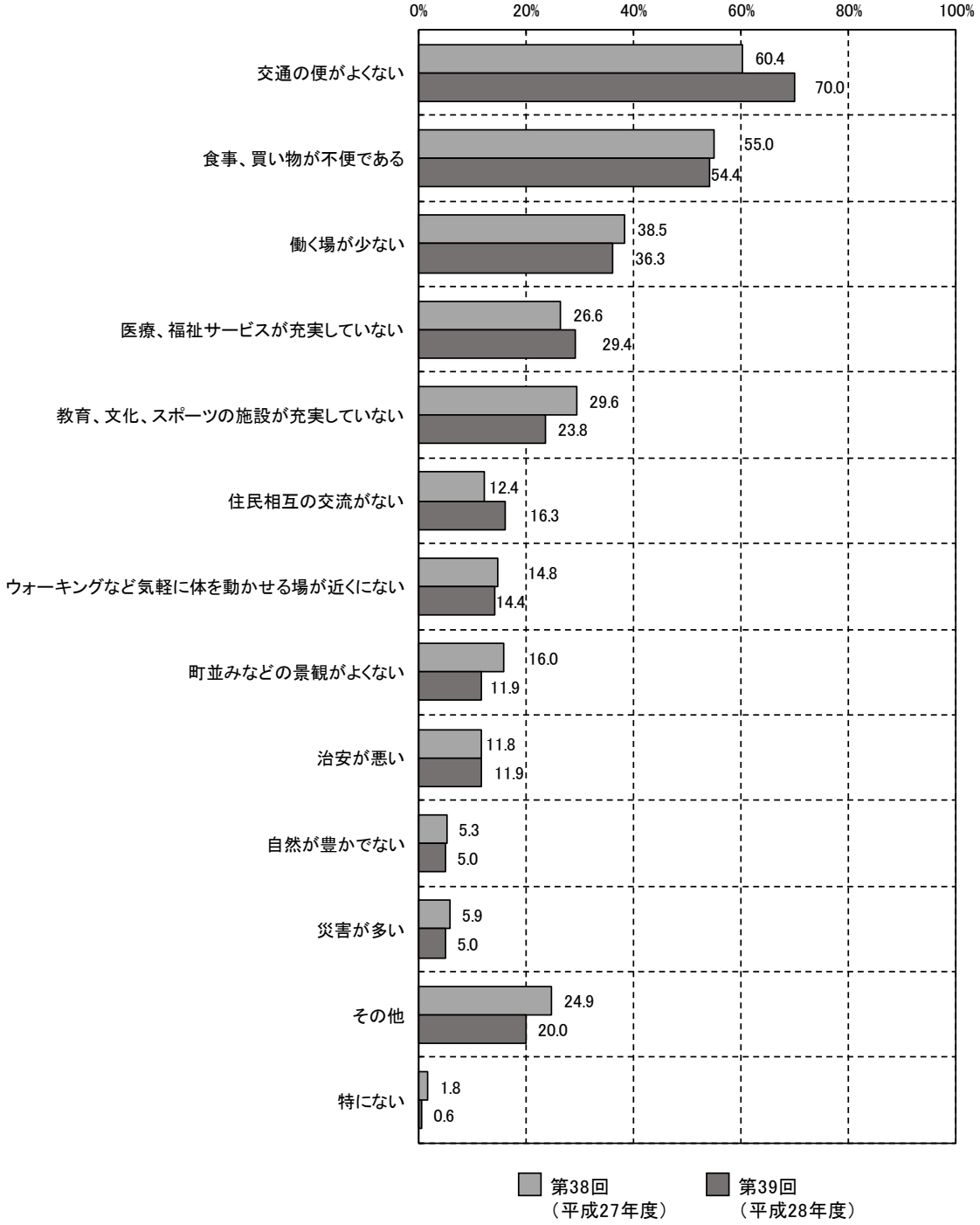
図 6-3-1　住んでいる地域が住みにくいと感じる点

回答者数（n = 160）（※）
総回答数（N = 482）



※ 問 6 で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方のみ

図 6-3-2 【前回比較】 住んでいる地域が住みにくいと感じる点



問７　今後も岐阜県に住み続けたいか

問７ あなたは、今後も岐阜県に住み続けたいと思いますか。（１つだけ）

図 7-1 今後も岐阜県に住み続けたいか

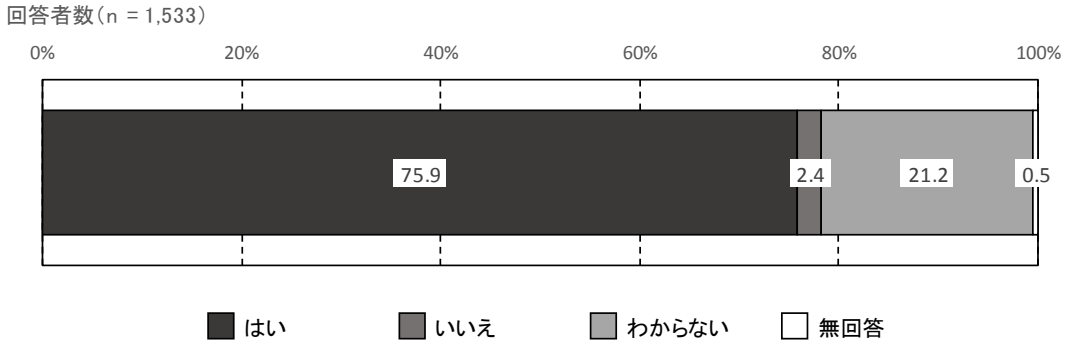
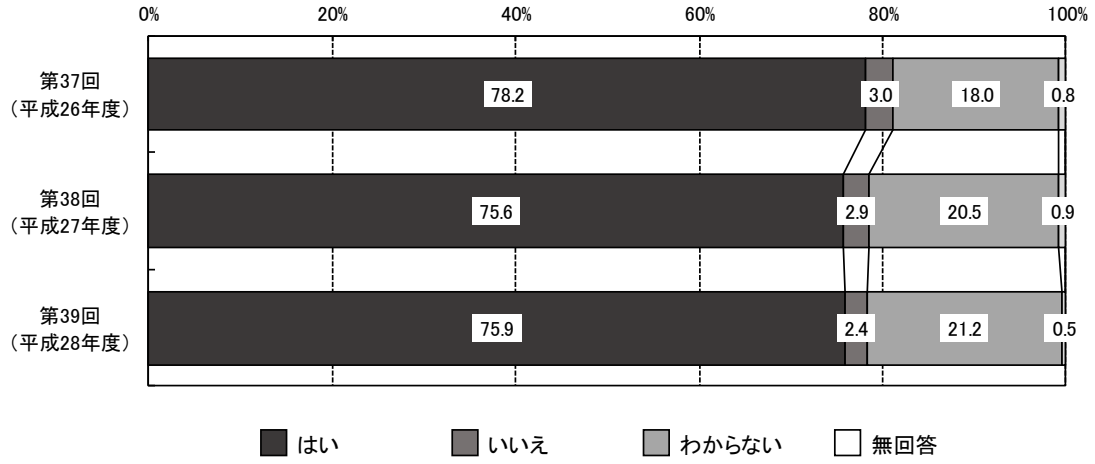


図 7-2 【前々回・前回比較】 今後も岐阜県に住み続けたいか



２．２　県の取り組み全般について

問８　施策や事業についての情報の入手方法

問８　あなたは、岐阜県が行っている施策や事業を、何によって知ることが多いですか。（いくつでも）

図 8-1　施策や事業についての情報の入手方法

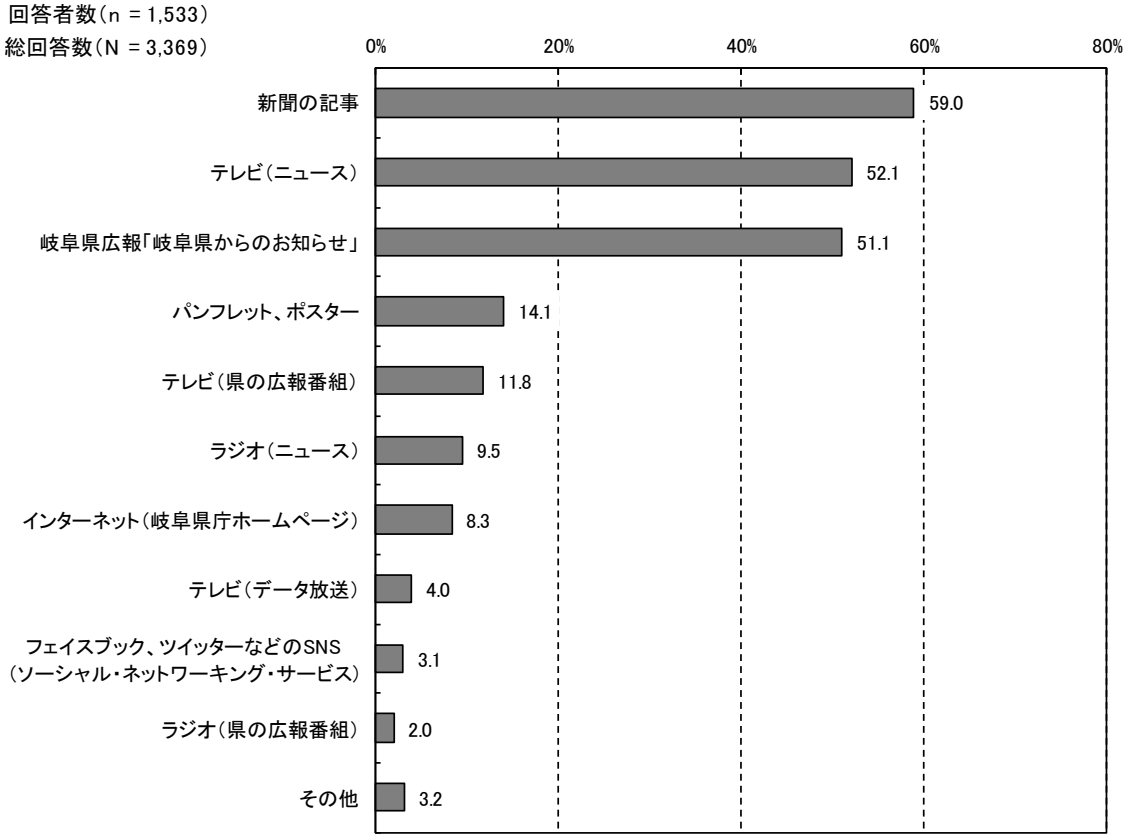
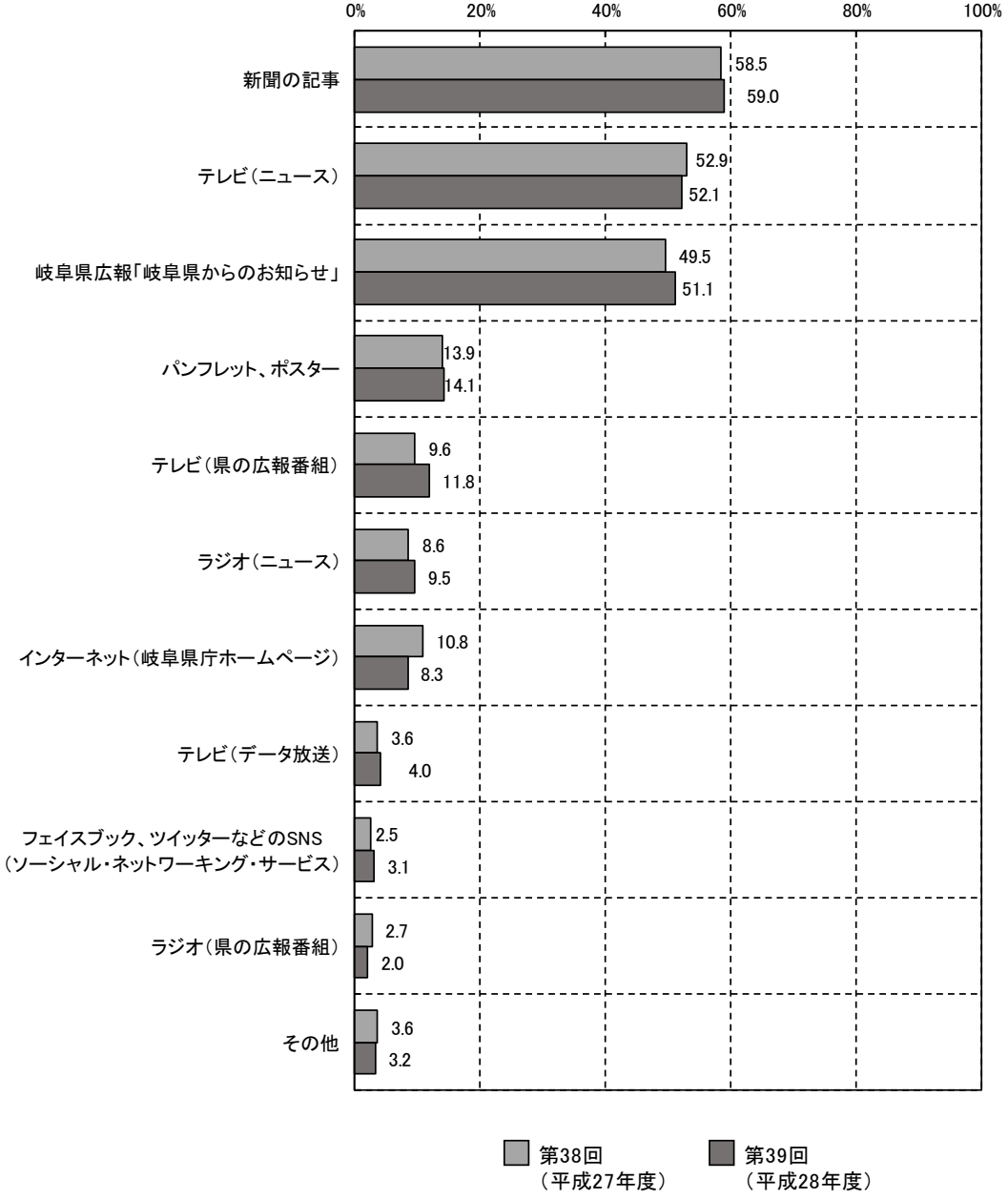


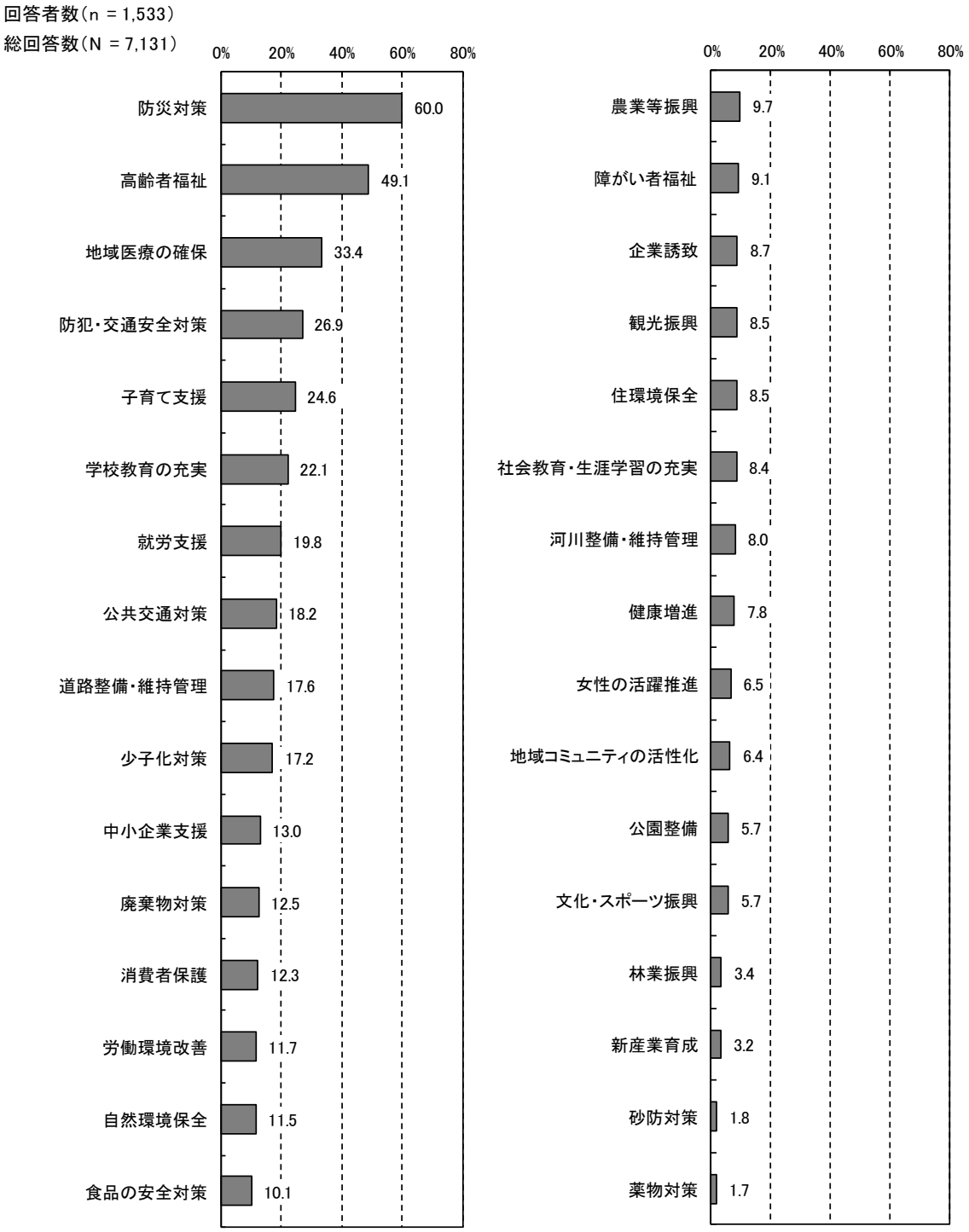
図 8-2 【前回比較】 施策や事業についての情報の入手方法



問９　特に重要だと思う県の施策

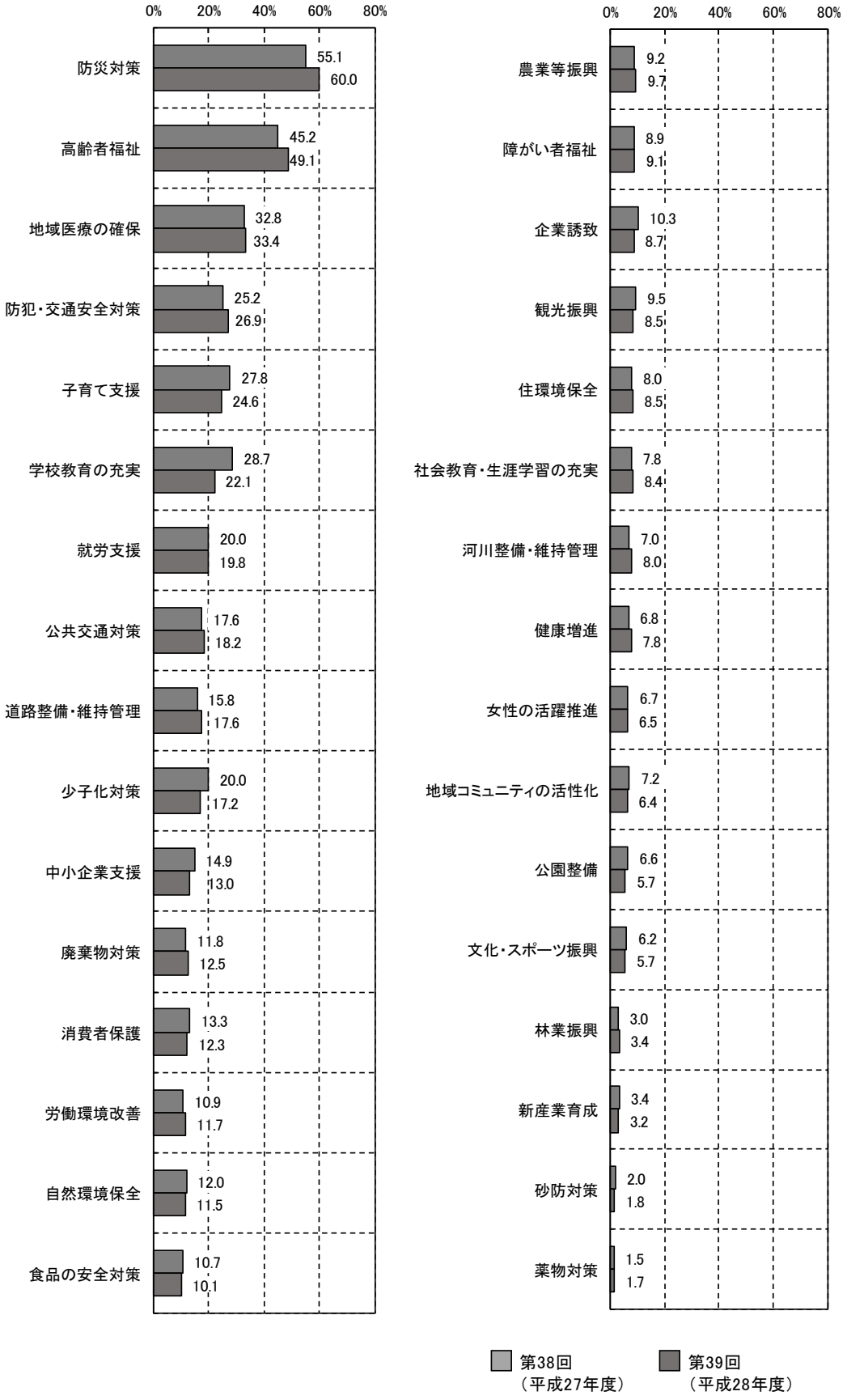
問９　現在、あなたが、特に重要だと思う県の施策はどれですか。（５つまで）

図 9-1　特に重要だと思う県の施策



※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。
・住環境保全（騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全）
・農業等振興（農業（畜産業・水産業含む）振興）

図 9-2 【前回比較】 特に重要だと思う県の施策



問１０　県事業への関心の有無

問１０　あなたは、岐阜県が行っている事業やその進め方について、関心をお持ちですか。
（１つだけ）

図 10-1　県事業への関心の有無

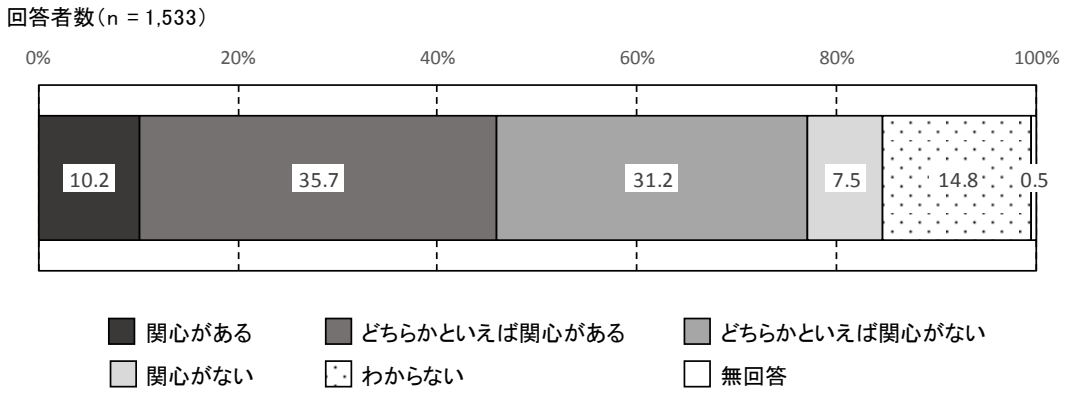
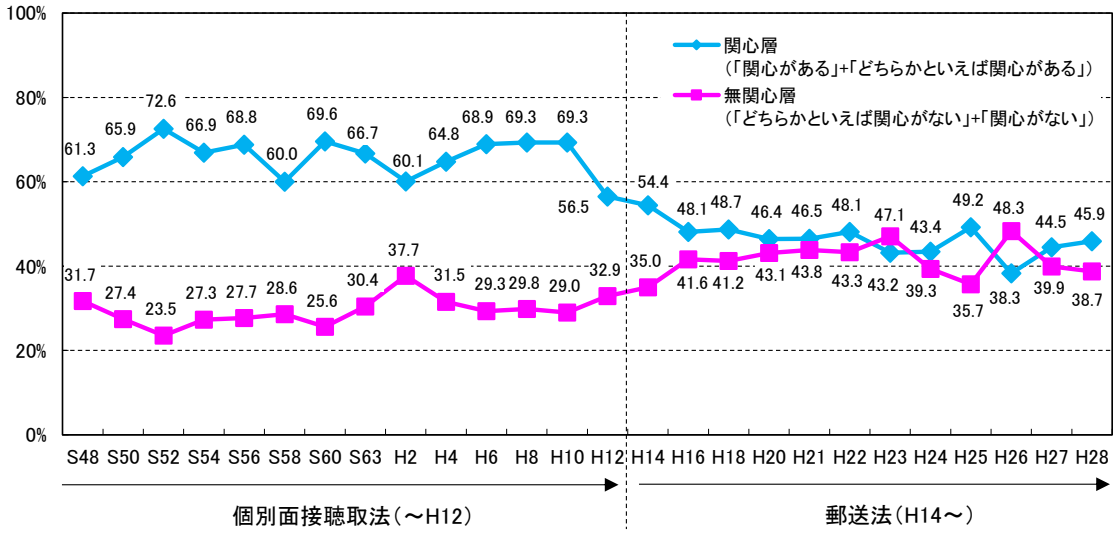


図 10-2 【経年変化】 県事業への関心の有無



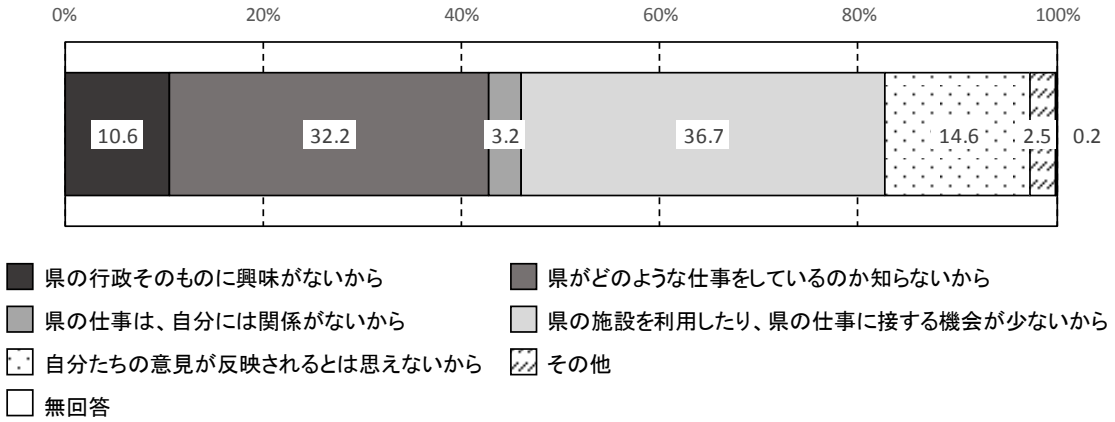
※ 調査方法：平成 12 年度まで個別面接聴取法、平成 14 年度から郵送法

問１０－２　県事業に関心がない理由

問１０－２　「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方にお尋ねします。
あなたが、岐阜県が行っている事業やその進め方に関心がないのは、どういう理由からですか。（１つだけ）

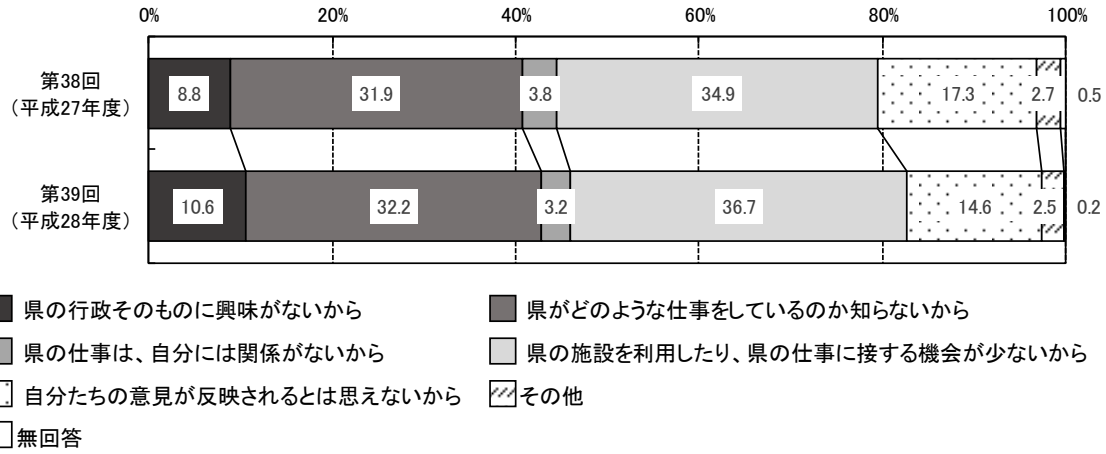
図 10-2-1　県事業に関心がない理由

回答者数（n = 594）（※）



※ 問 10 で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方のみ

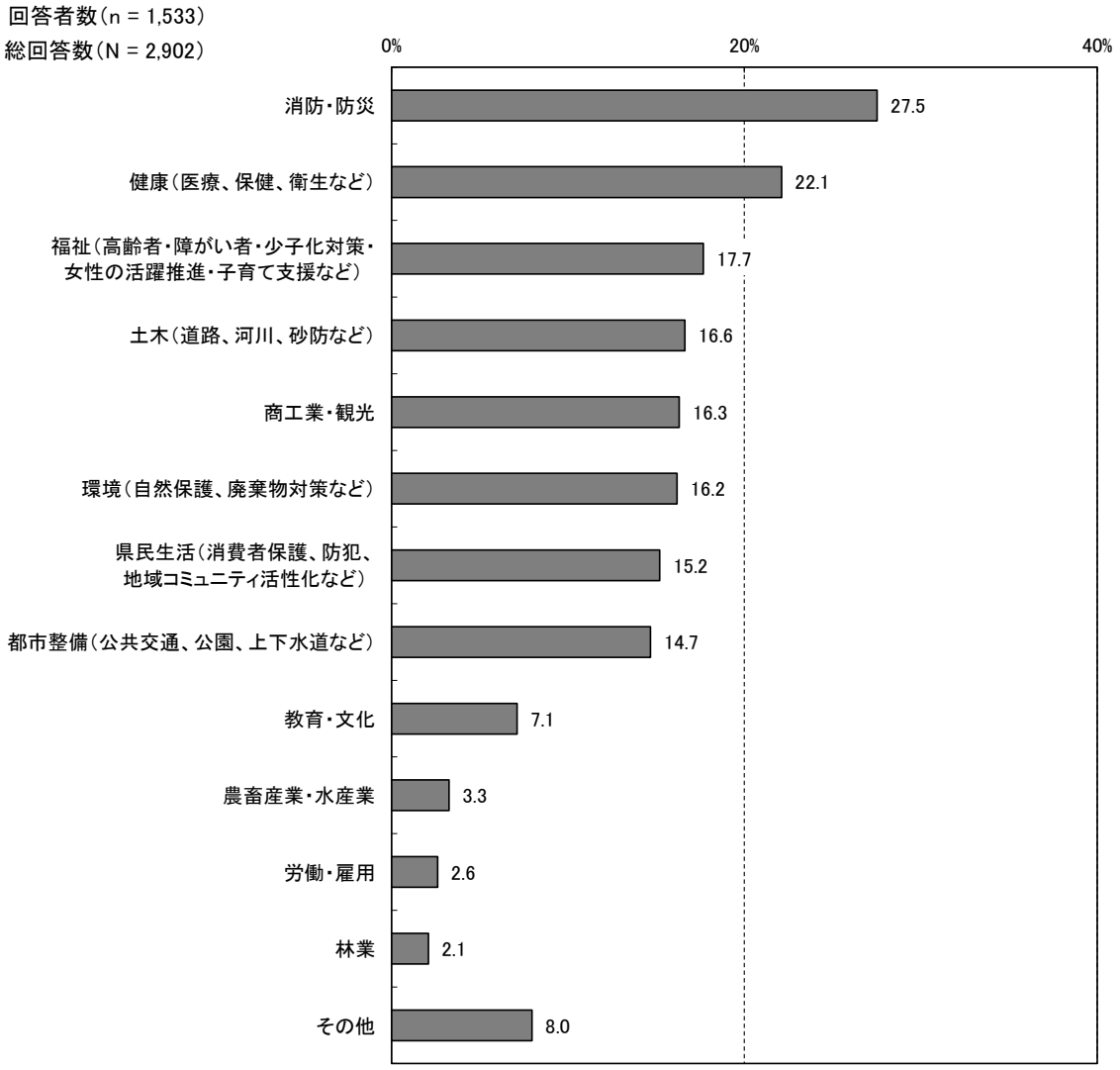
図 10-2-2 【前々回・前回比較】 県事業に関心がない理由



問１１　県の取り組みでよくやっていると思う分野

問１１　あなたが、県の取り組みについてよくやっていると思うのは、どの分野ですか。
（３つまで）

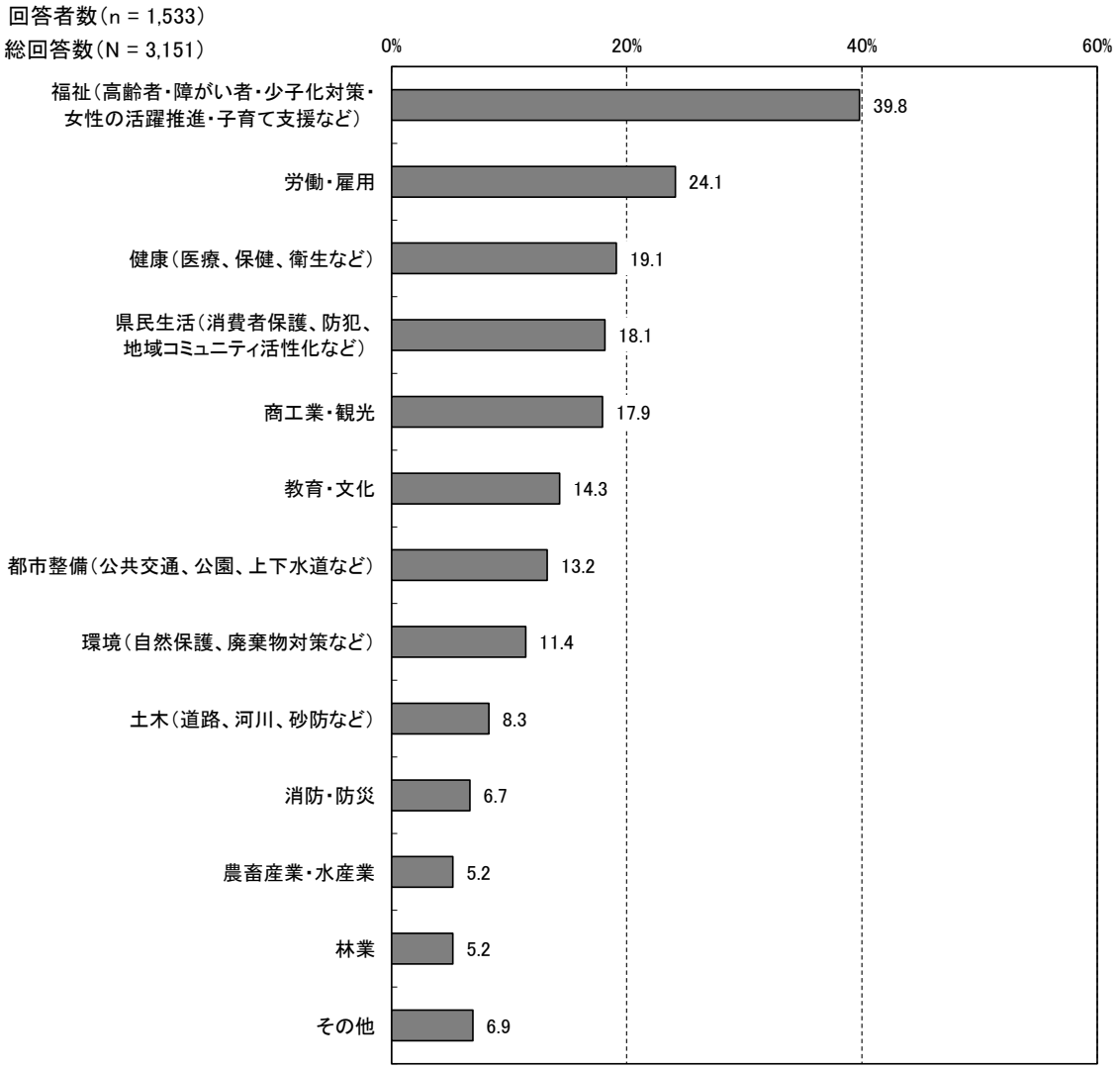
図 11-1　県の取り組みでよくやっていると思う分野



問１２　県の取り組みで努力が足りないと思う分野

問１２　あなたが、県の取り組みについて努力が足りないと思うのは、どの分野ですか。
（３つまで）

図 12-1　県の取り組みで努力が足りないと思う分野



問１３　「清流の国ぎふ」をキーワードとした施策の取り組み

問１３　あなたは、岐阜県が「清流の国ぎふ」を地域づくりのキーワードとして掲げ、各種の施策に取り組んでいることを知っていますか。（１つだけ）

図 13-1 「清流の国ぎふ」をキーワードとした施策の取り組み

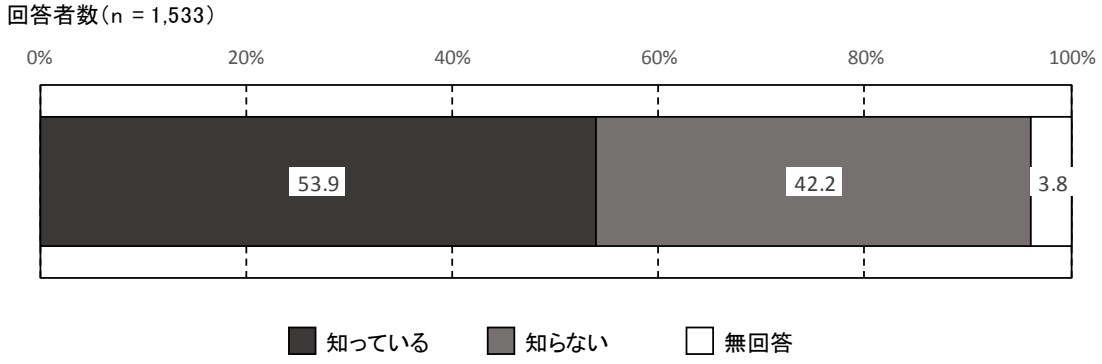
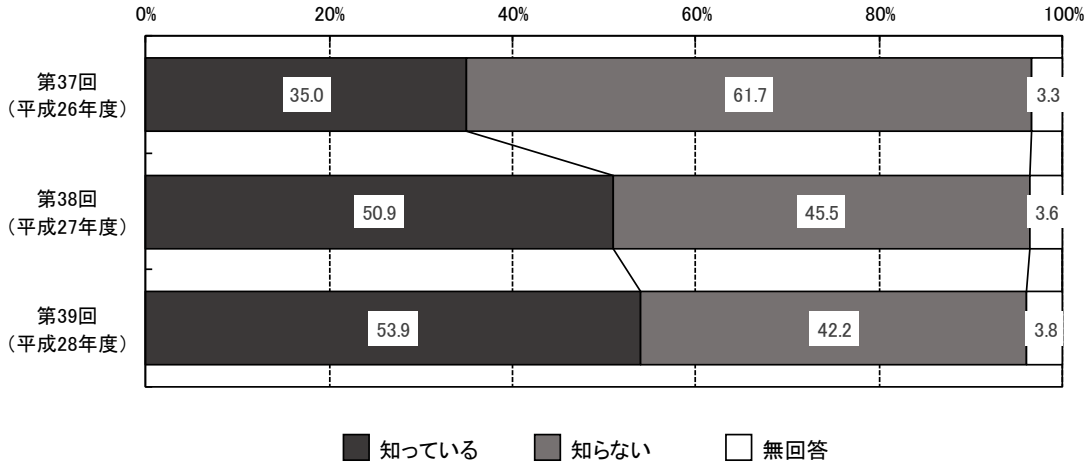


図 13-2 【前々回・前回比較】「清流の国ぎふ」をキーワードとした施策の取り組み



２．３　生活を取り巻くさまざまな課題について

問１４　「高齢者」「障がい者」に対する福祉サービスの不足

問１４　あなたがお住まいの地域で、「高齢者」「障がい者」に対する福祉サービスは足りていると思いますか。（それぞれ１つずつ）

図 14-1 「高齢者」に対する福祉サービスの不足

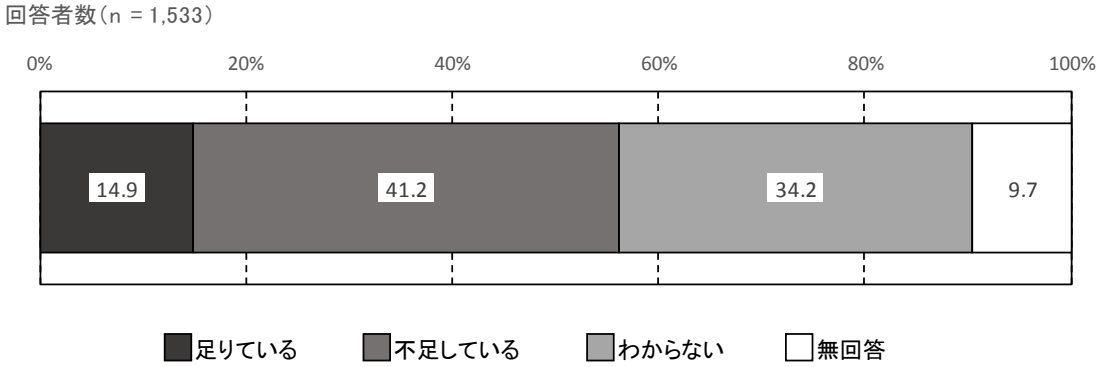
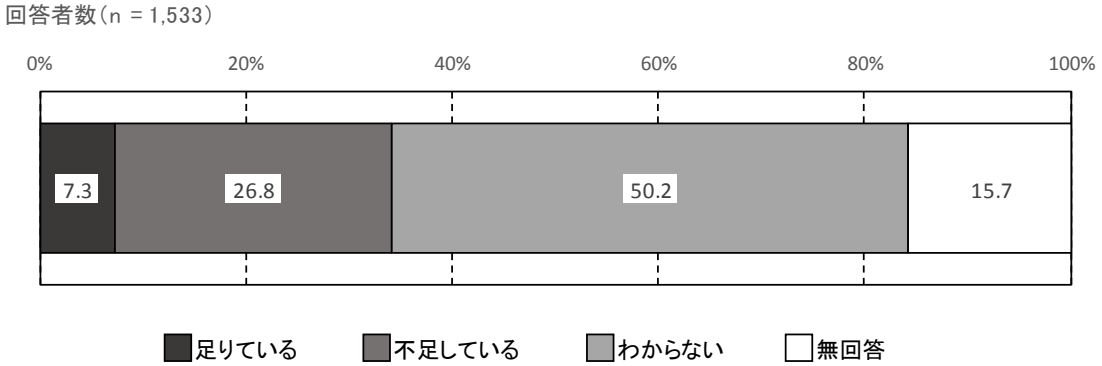


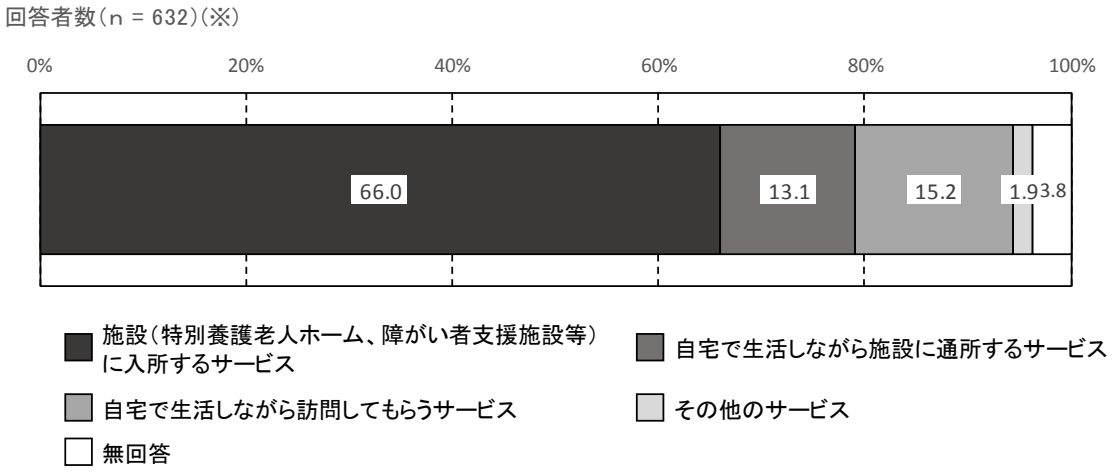
図 14-2 「障がい者」に対する福祉サービスの不足



問１４-２　不足している「高齢者」「障がい者」に対する福祉サービス

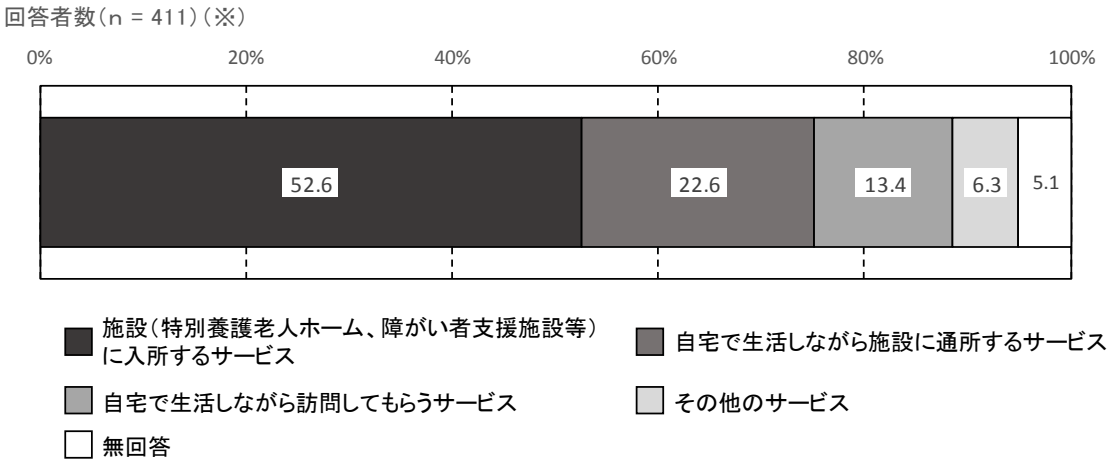
問１４－２　「不足している」と答えた方にお尋ねします。不足していると思う「高齢者」「障がい者」に対する福祉サービス等は何ですか。（それぞれ１つずつ）

図 14-2-1　不足している「高齢者」に対する福祉サービス



※ 問 14 で高齢者に対する福祉サービスが「不足している」と答えた方のみ

図 14-2-2　不足している「障がい者」に対する福祉サービス



※ 問 14 で障がい者に対する福祉サービスが「不足している」と答えた方のみ

問１５　地域全体で子育てを支える環境の整備

問１５　あなたがお住まいの地域では、地域全体で子育てを支える環境が整っていると思いますか。（１つだけ）

図 15-1　地域全体で子育てを支える環境の整備

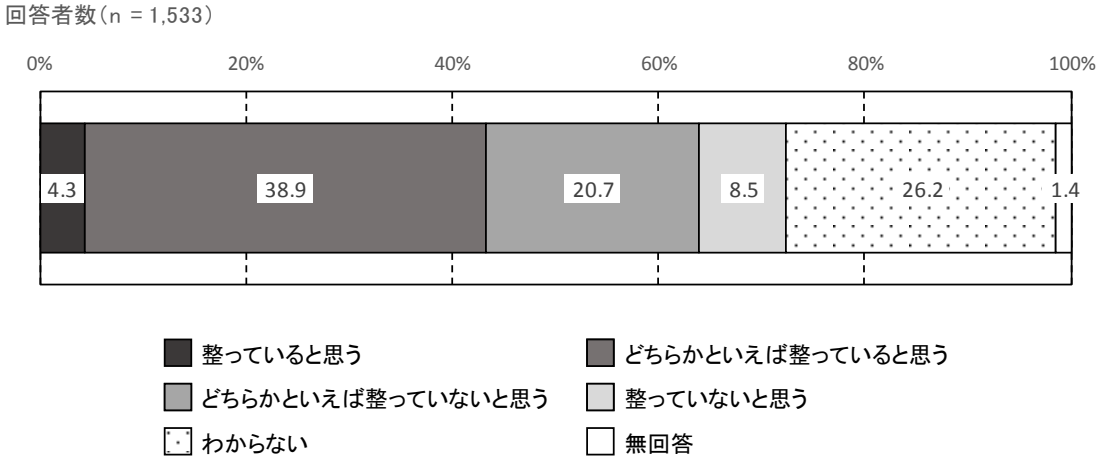
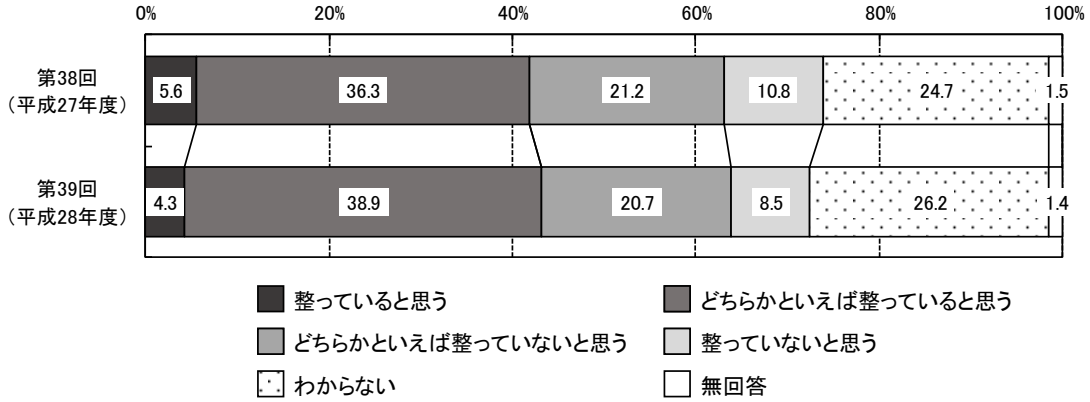


図 15-2 【前回比較】 地域全体で子育てを支える環境の整備



問１６　過去１年間に犯罪にあったこと、危険を感じたことの有無

問１６　あなたは、過去１年間に犯罪被害にあったこと、または犯罪に巻き込まれる危険を感じたことがありますか。（１つだけ）

図 16-1　過去1年間に犯罪にあったこと、危険を感じたことの有無

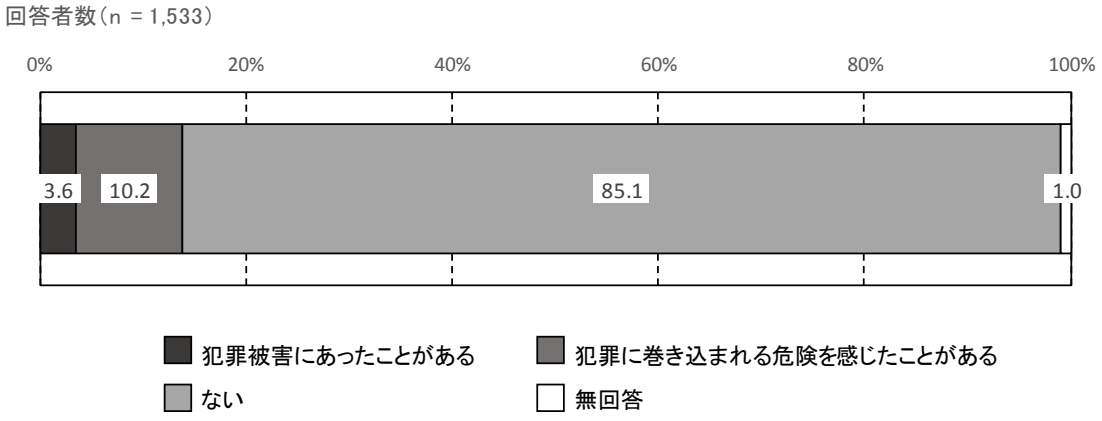
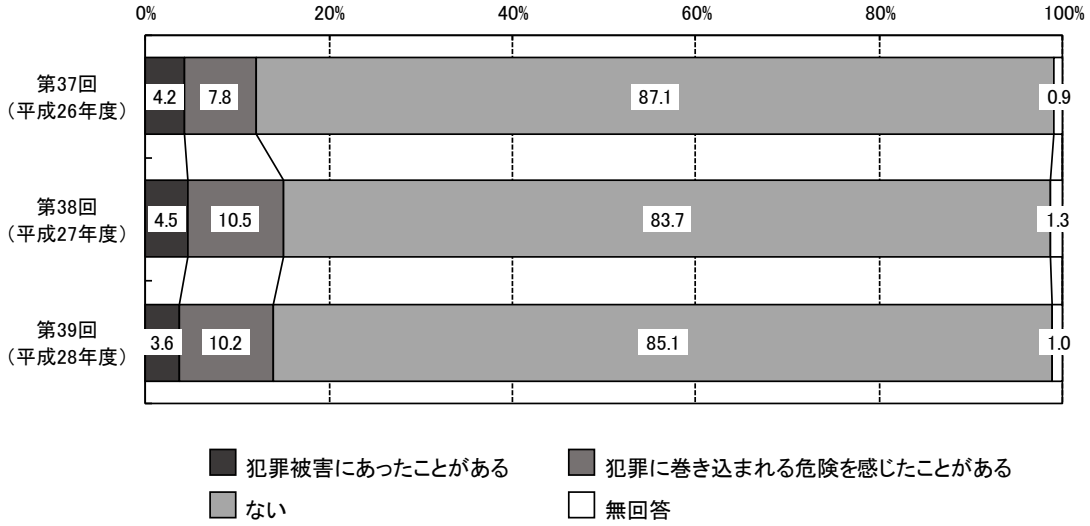


図 16-2 【前々回・前回比較】 過去 1 年間に犯罪にあったこと、危険を感じたことの有無



問１７　社会貢献活動への参加

問１７　あなたは、ＮＰＯ（民間非営利組織）やボランティアなど、自発的に社会のために取り組む活動に参加していますか。（１つだけ）

図 17-1　社会貢献活動への参加

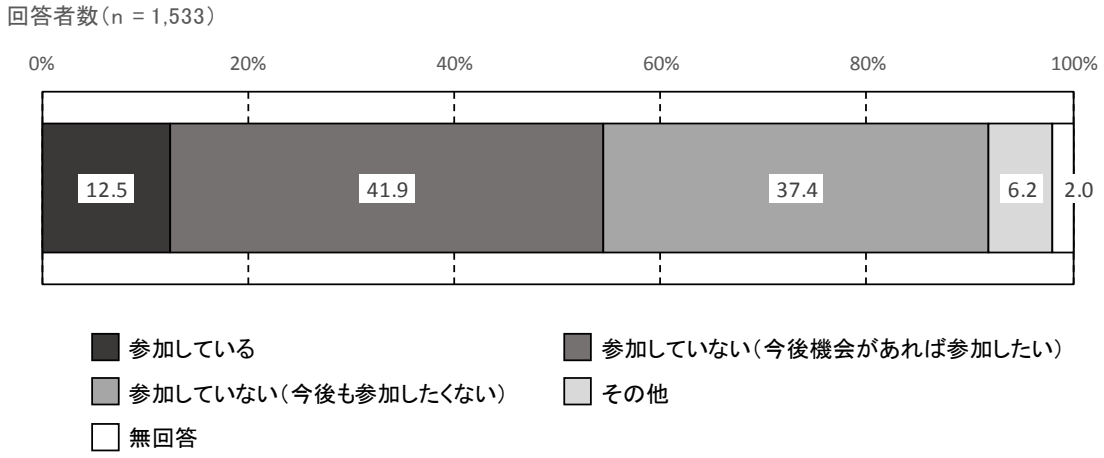
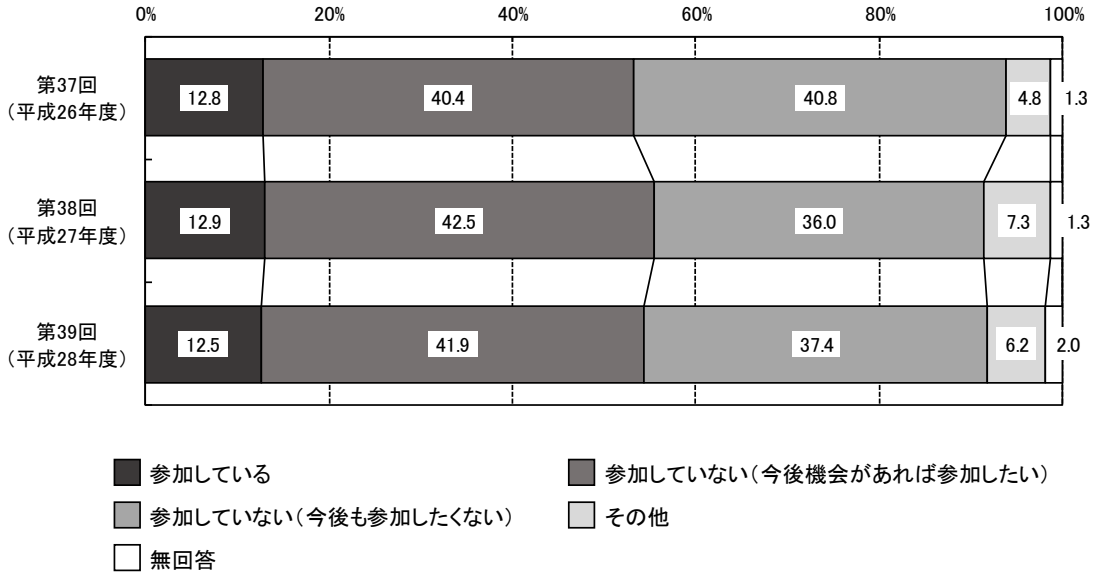


図 17-2 【前々回・前回比較】 社会貢献活動への参加



問１８　在住外国人との共生

問１８ 現在、県内では、多くの外国人が暮らし、定住化が進んでいます。あなたは、在住外国人と共生する社会の実現についてどう思いますか。（１つだけ）

図 18-1 在住外国人との共生

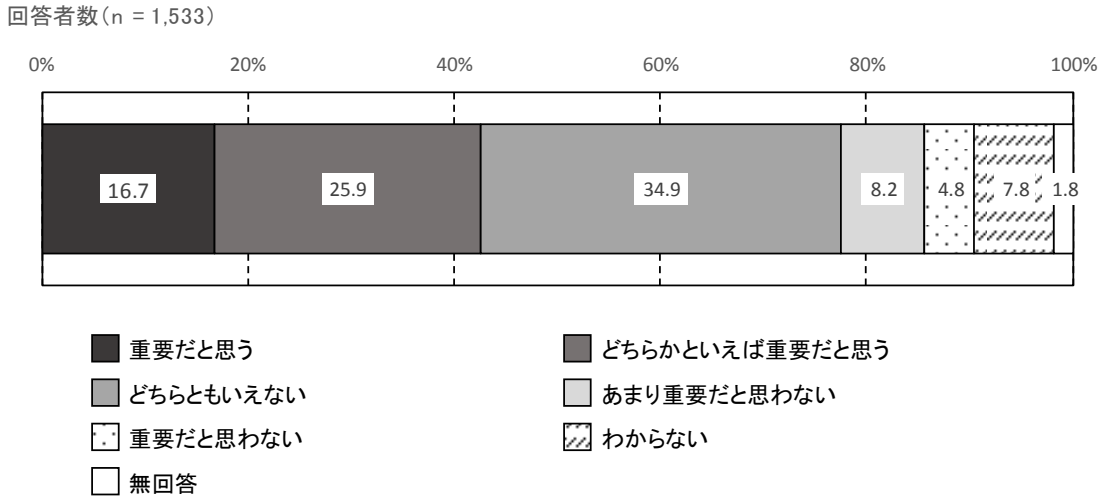
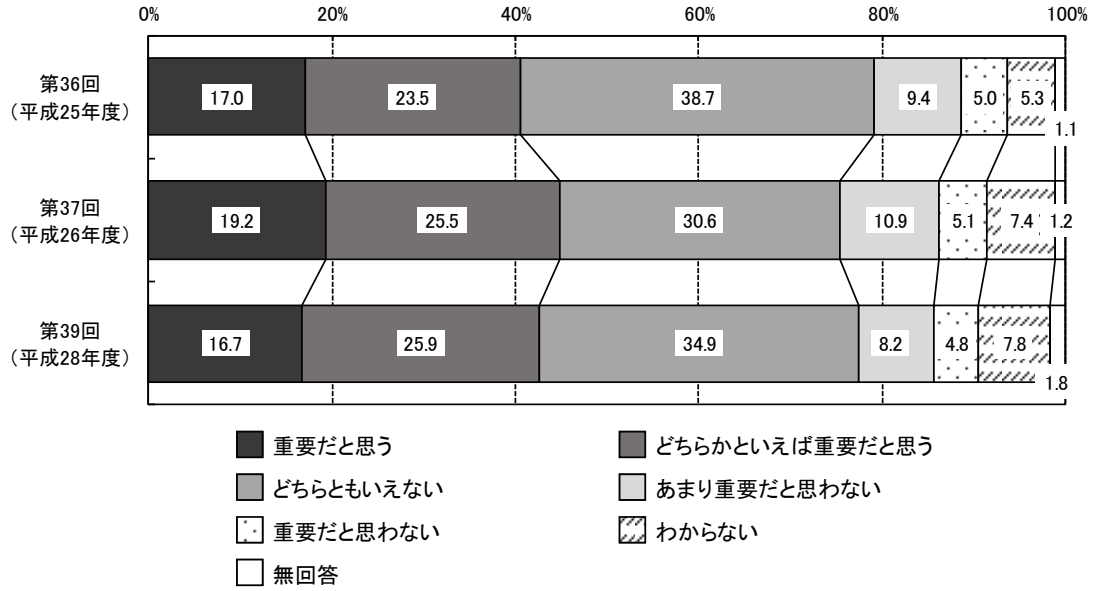


図 18-2 【第 36 回・第 37 回調査比較】 在住外国人との共生



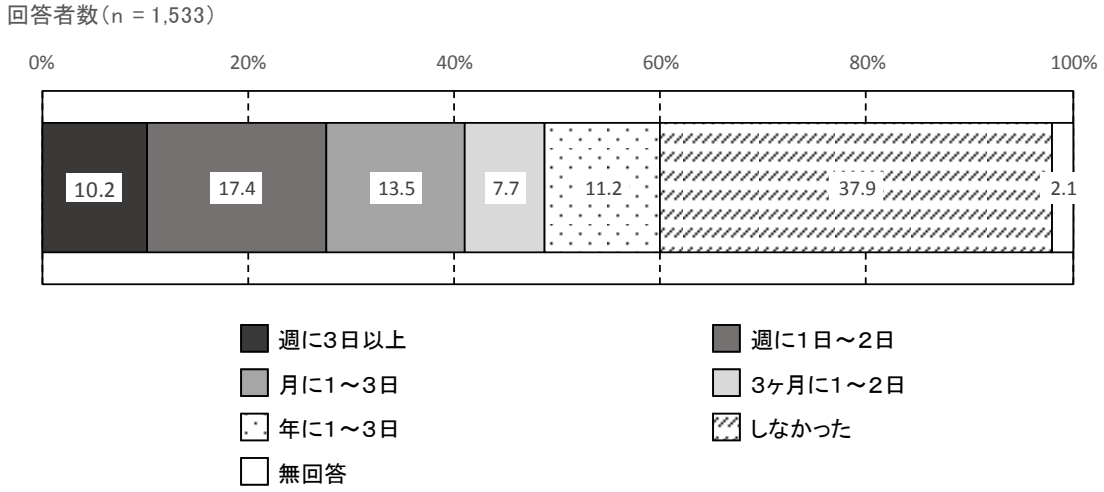
※ 第 38 回調査では、『在住外国人との共生』は聞いていない。

※ 第 36 回調査では、選択肢が「よいことだと思う」「どちらかといえばよいことだと思う」「どちらともいえない」「あまりよいことだと思わない」「よいことだと思わない」「わからない」であった。

問１９　スポーツやレクリエーションをする頻度

問１９　あなたは、この１年間に、どのくらいの頻度でスポーツやレクリエーション（※）をしましたか。(複数のスポーツやレクリエーションをしている場合は、その合計の頻度をお答えください。)（１つだけ）

図 19-1　スポーツやレクリエーションをする頻度

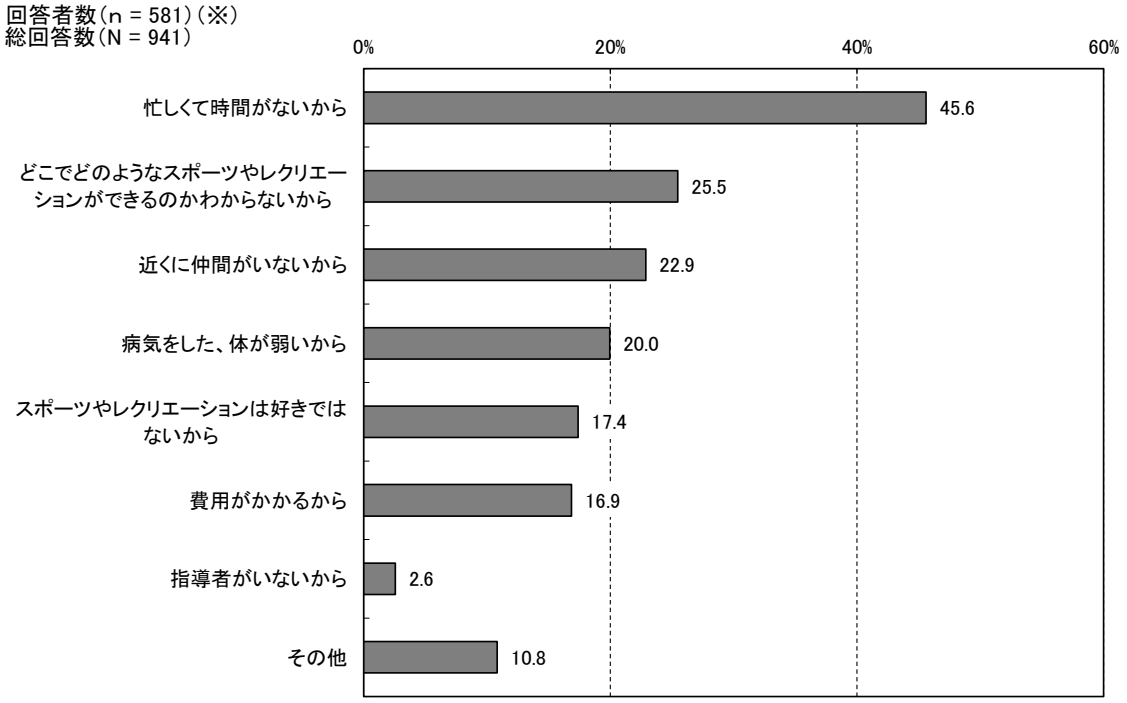


※ スポーツやレクリエーション：身体運動を伴う屋内または屋外での活動
例：陸上、球技、水泳、ゴルフ、体操（職場体操、美容体操など）、ウォーキング、ジョギング、ダンス、軽スポーツ（ゲートボール、グラウンド・ゴルフなど）、キャンプ、登山、釣り、器具を使った室内運動など

問１９－２　スポーツやレクリエーションをしなかった理由

問１９－２　「しなかった」と答えた方にお尋ねします。
スポーツやレクリエーションをしなかったのはどのような理由からですか。
（３つまで）

図 19-2-1　スポーツやレクリエーションをしなかった理由

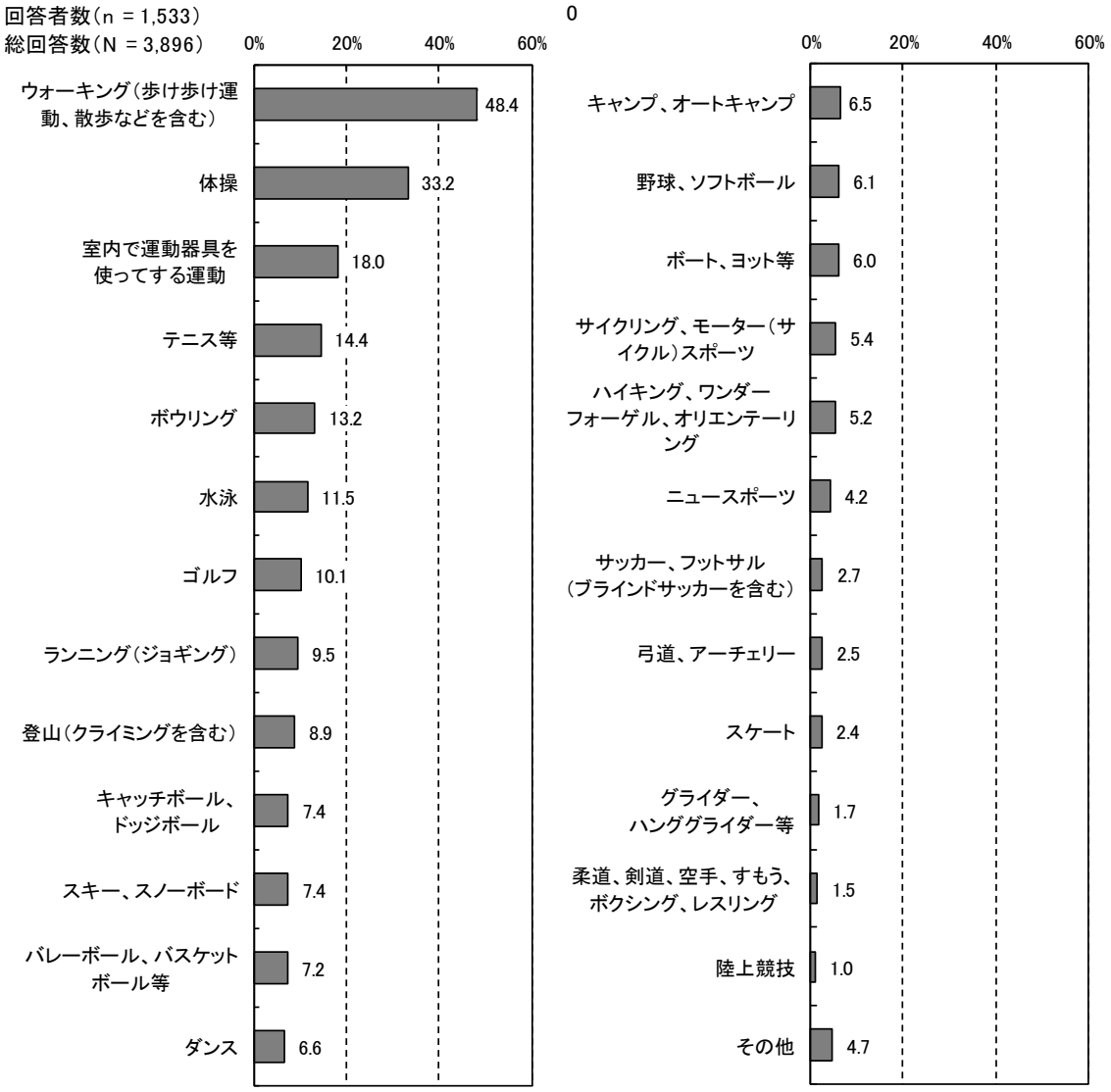


※ 問 19 で「しなかった」と答えた方のみ

問２０　興味のあるスポーツやレクリエーション

問２０　この１年間に、どんなスポーツやレクリエーションをしましたか。また、しなかった方は、どんなスポーツやレクリエーションをしてみたいですか。（いくつでも）

図 20-1　興味のあるスポーツやレクリエーション

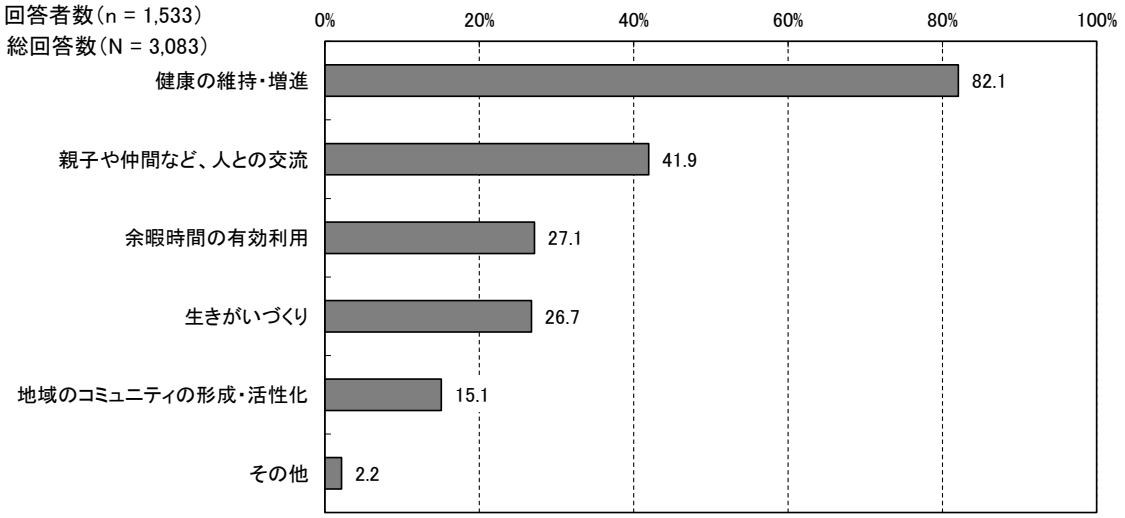


※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。
- ・体操…体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びを含む）
- ・テニス等…テニス、ソフトテニス、バドミントン、卓球（車いすテニスを含む）
- ・バレーボール、バスケットボール等…バレーボール、バスケットボール（シッティングバレーボール、車いすバスケットボールを含む）
- ・ダンス…ダンス（フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊り、車いすダンスを含む）
- ・ボート、ヨット等…ボート、ヨット、ボードセーリング、スキンダイビング、スクーバダイビング、カヌー、水上バイク、サーフィン、釣り
- ・ニュースポーツ…ニュースポーツ（ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、インディアカなどを含む）
- ・グライダー、ハンググライダー等…グライダー、ハンググライダー、スカイダイビング、パラグライダー

問２１　スポーツやレクリエーションに期待する効果

問２１　あなたは、スポーツやレクリエーションにどのような効果を期待しますか。
（いくつでも）

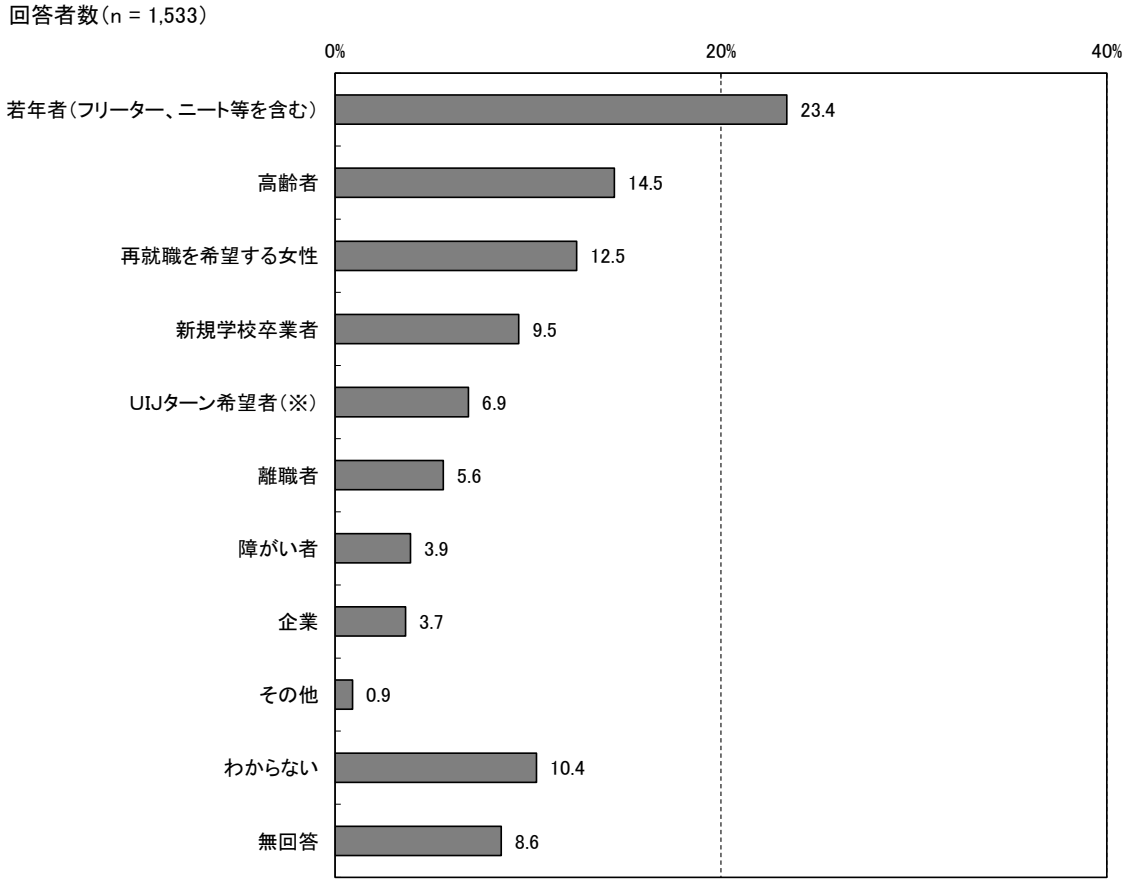
図 21-1　スポーツやレクリエーションに期待する効果



問２２　雇用対策の取り組み

問２２　あなたは、岐阜県に特に重点的に取り組んでほしい雇用対策の対象は誰ですか。
（１つだけ）

図 22-1　雇用対策の取り組み



※ UIJターン：現時点では岐阜県外に居住・就職しているが、今後岐阜県内への居住・就職を希望している方

問２３　農産物購入時の「県内産」の意識

問２３　あなたは、米、野菜、食肉などの農産物について、「県内産」であることを意識して購入していますか。（１つだけ）

図 23-1　農産物購入時の「県内産」の意識

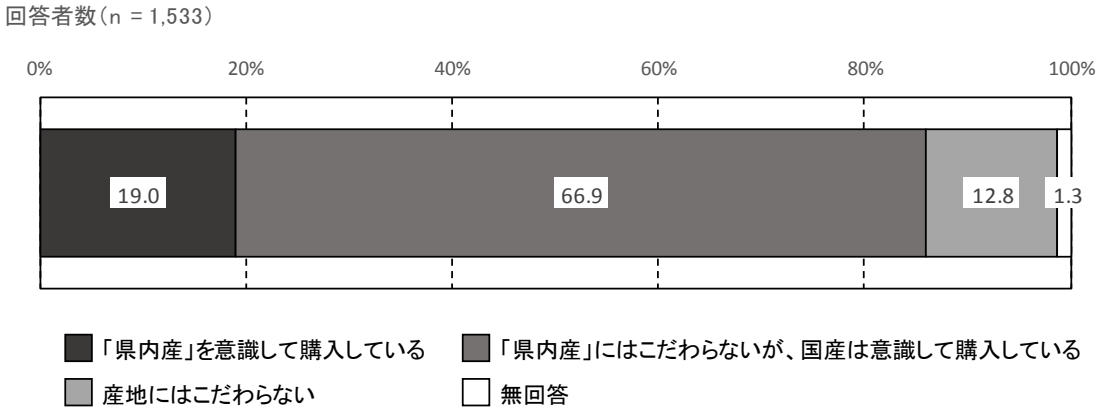
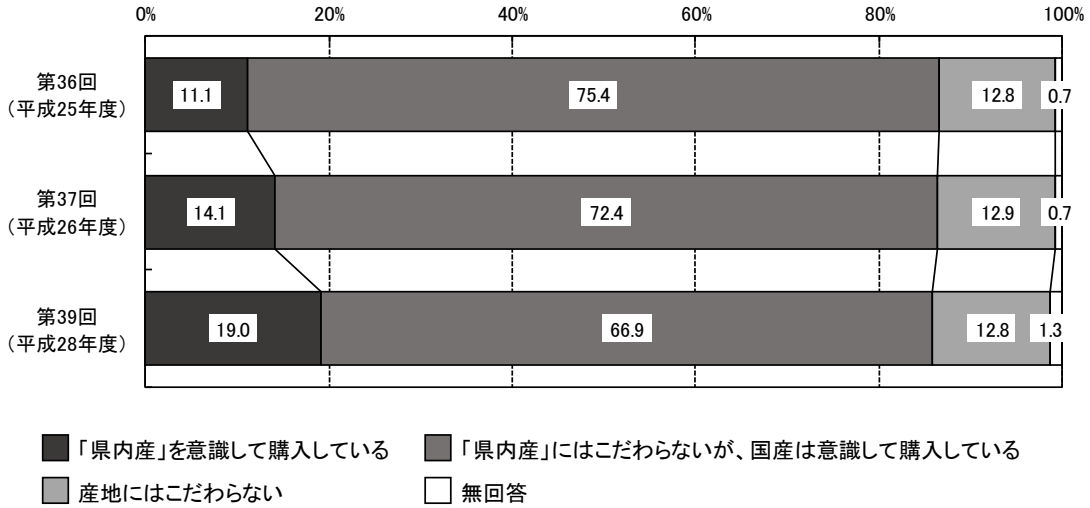


図 23-2 【第 36 回・第 37 回調査比較】 農産物購入時の「県内産」の意識



※ 第 38 回調査では、『農産物購入時の「県内産」の意識』は聞いていない。

問２４　「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度

問２４ 岐阜県では、県民の皆様に「清流の国ぎふ森林・環境税」を負担していただき、豊かな森づくりや清流の保全に取り組んでいます。
あなたは、この「清流の国ぎふ森林・環境税」を知っていますか。（１つだけ）

図 24-1 「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度

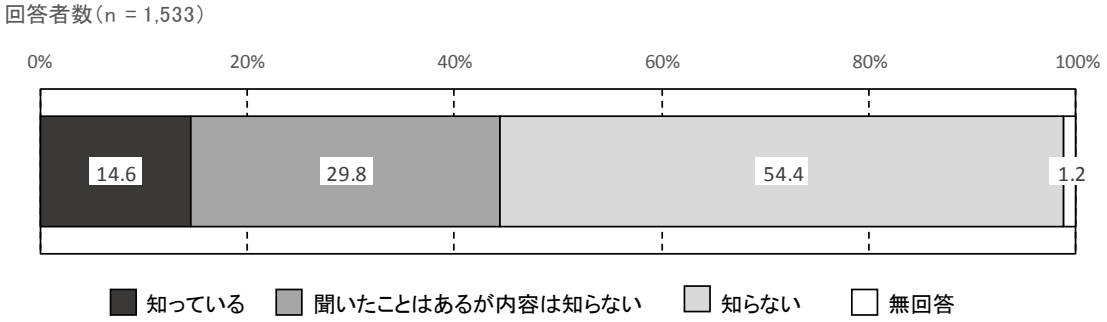
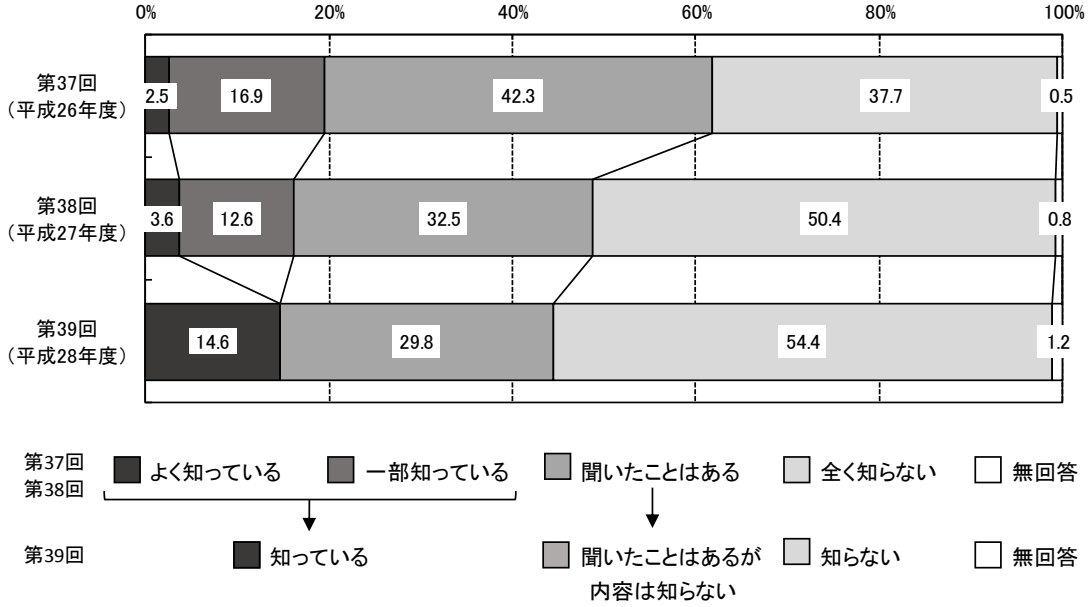


図 24-2 【前々回・前回比較】「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度



※ 第 39 回調査で選択肢を変えているため、第 37,38 回の「よく知っている」「一部知っている」を第 39 回の「知っている」、第 37,38 回の「聞いたことはある」を第 39 回の「聞いたことはあるが内容は知らない」と比較している。
※ 選択肢、「よく知っている」は、第 37 回調査では「内容についてよく知っている」
※ 選択肢、「一部知っている」は、第 37 回調査では「内容について少しは知っている」
※ 選択肢、「聞いたことはある」は、第 37 回調査では「聞いたことはあるが内容は全く知らない」

問２５　災害や緊急時の備え

問２５　あなたは、地震や台風などの災害や緊急時の備えができていますか。（１つだけ）

図 25-1　災害や緊急時の備え

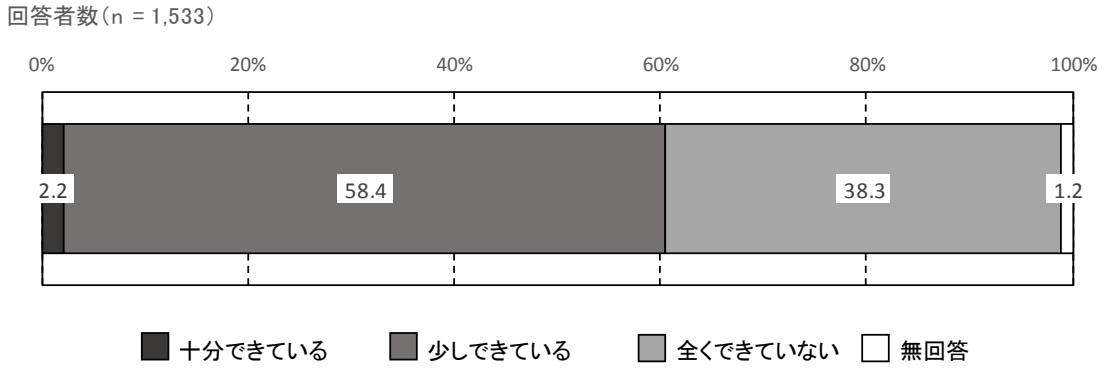
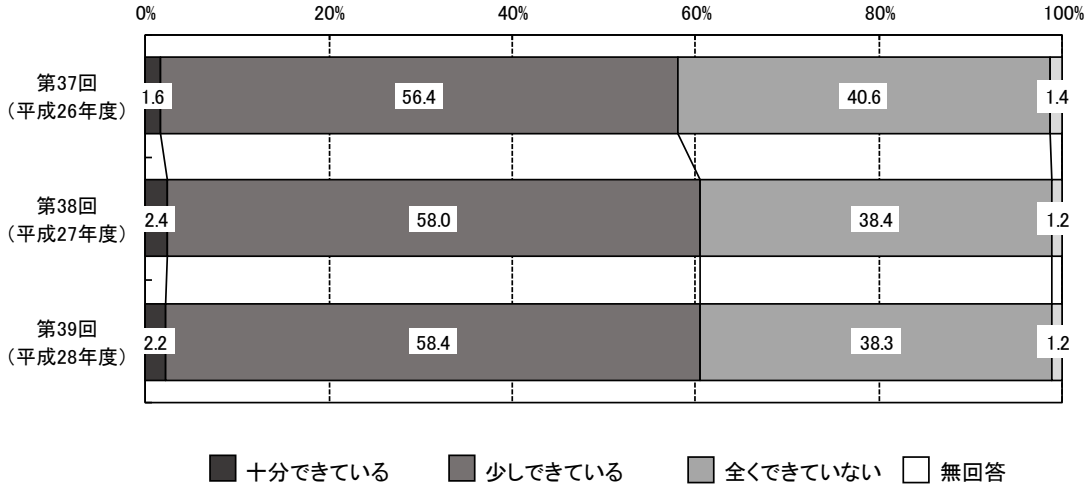


図 25-2【前々回・前回比較】 災害や緊急時の備え



問２６　防災対策や避難行動の情報源

問２６　あなたは、台風や集中豪雨発生時に、防災対策や避難行動に役立つ情報を何によって知ることが多いですか。（いくつでも）

図 26-1　防災対策や避難行動の情報源

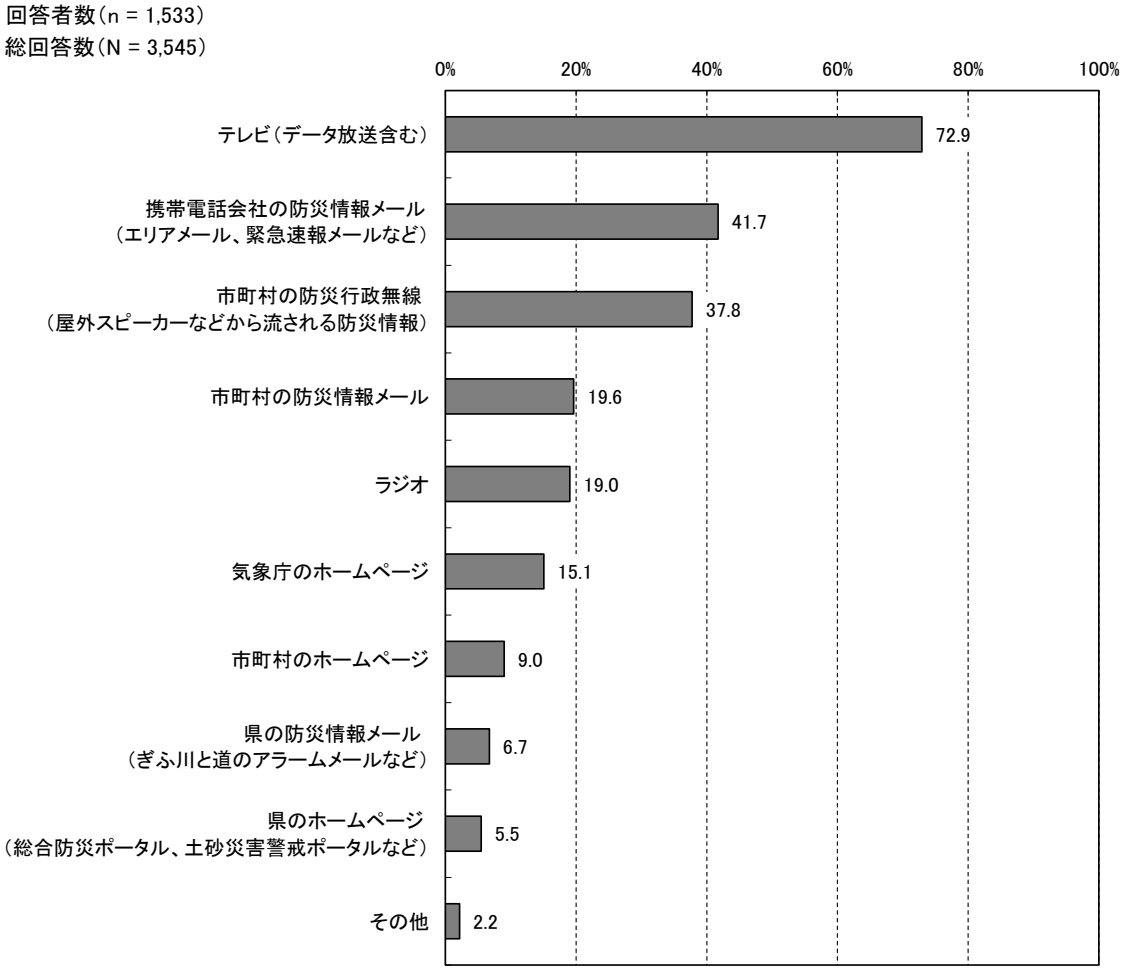
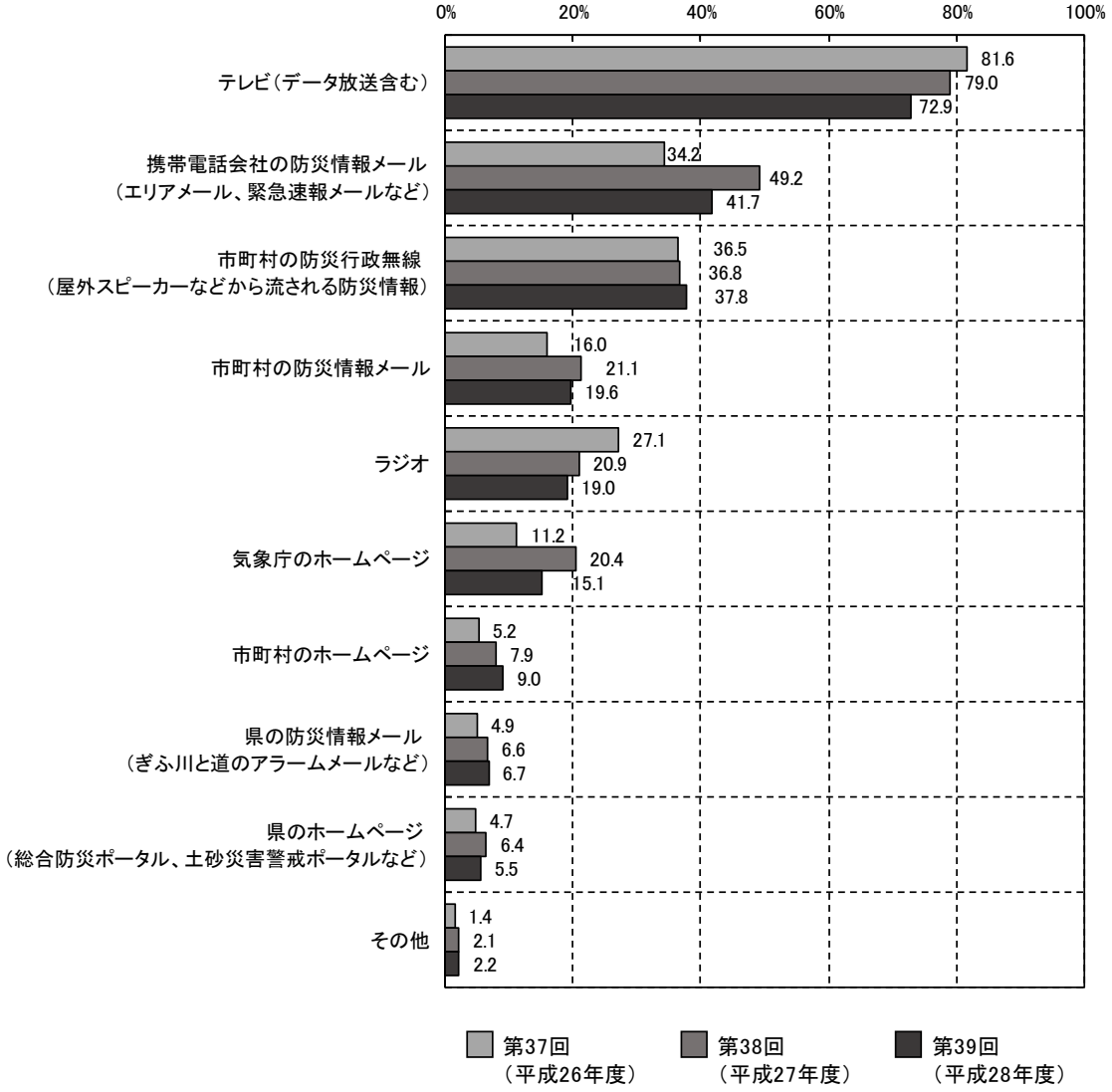


図 26-2 【前々回・前回比較】 防災対策や避難行動の情報源



問２７　避難情報に対する行動について

問２７　あなたは、台風や集中豪雨発生時に市町村から「避難準備情報」や「避難勧告」などの避難情報が発令された場合、勧告等に従って行動しますか。（１つだけ）

図 27-1　避難情報に対する行動について

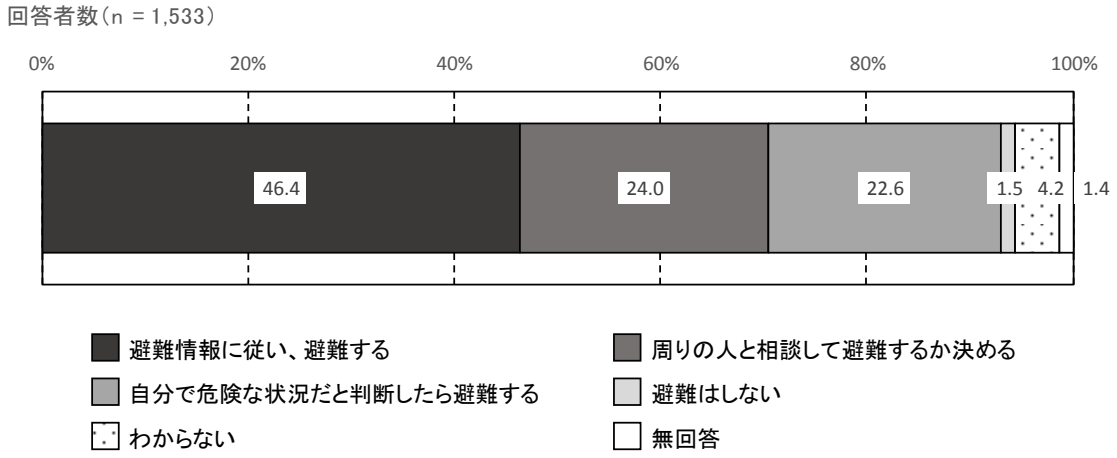
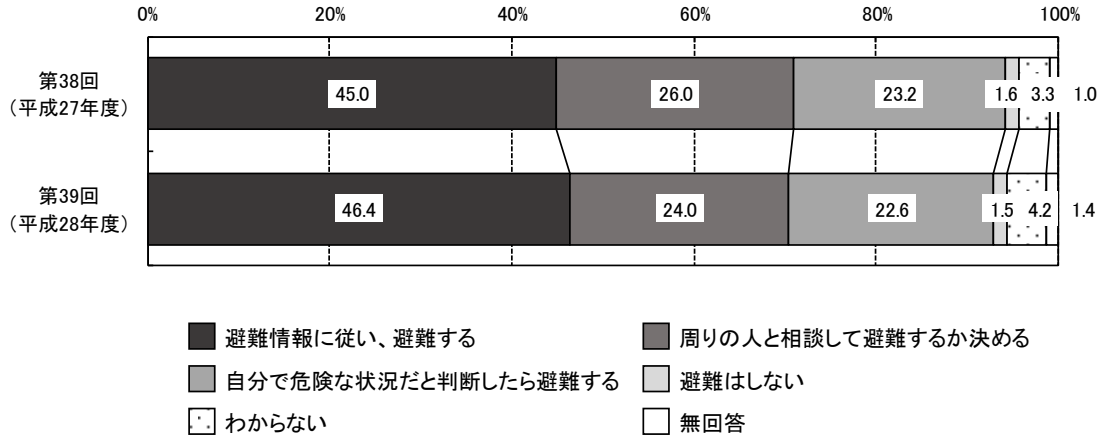


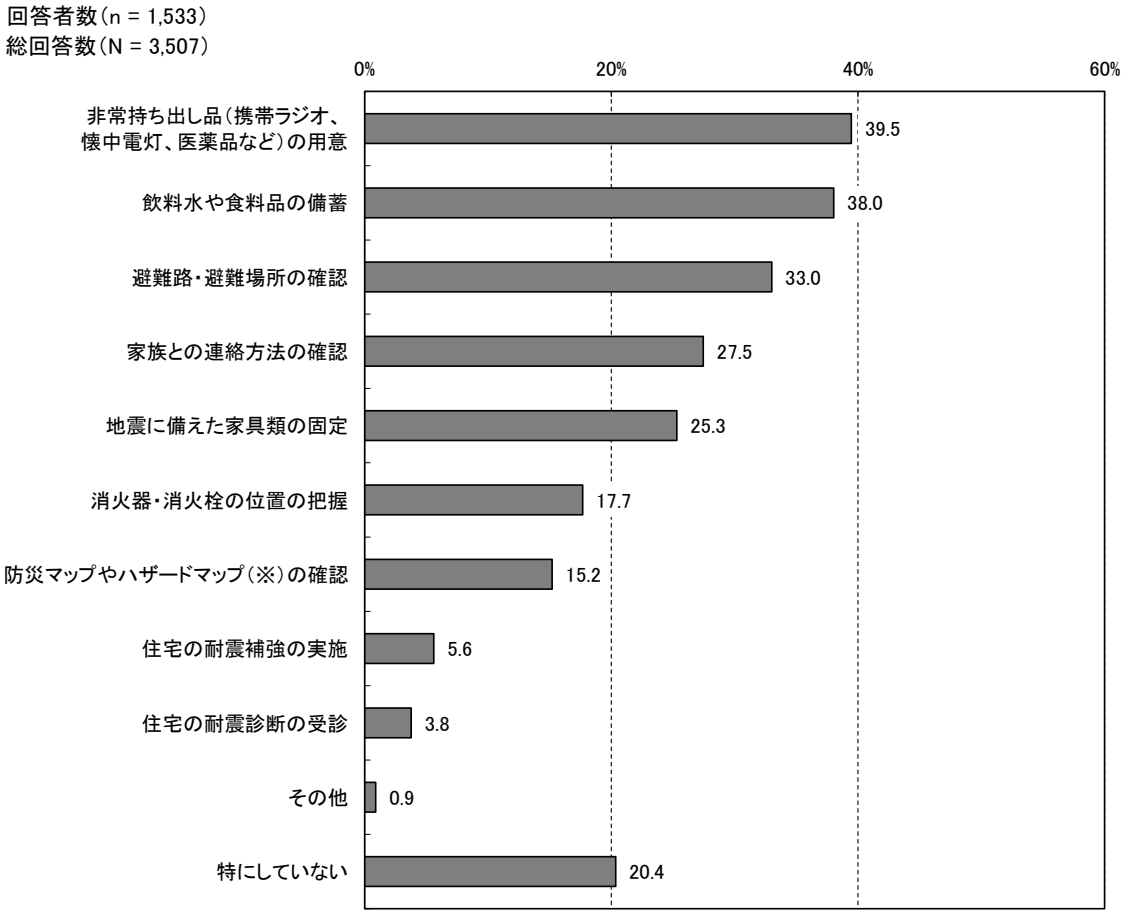
図 27-2 【前回比較】 避難情報に対する行動について



問２８　災害や緊急時の現在できている備え

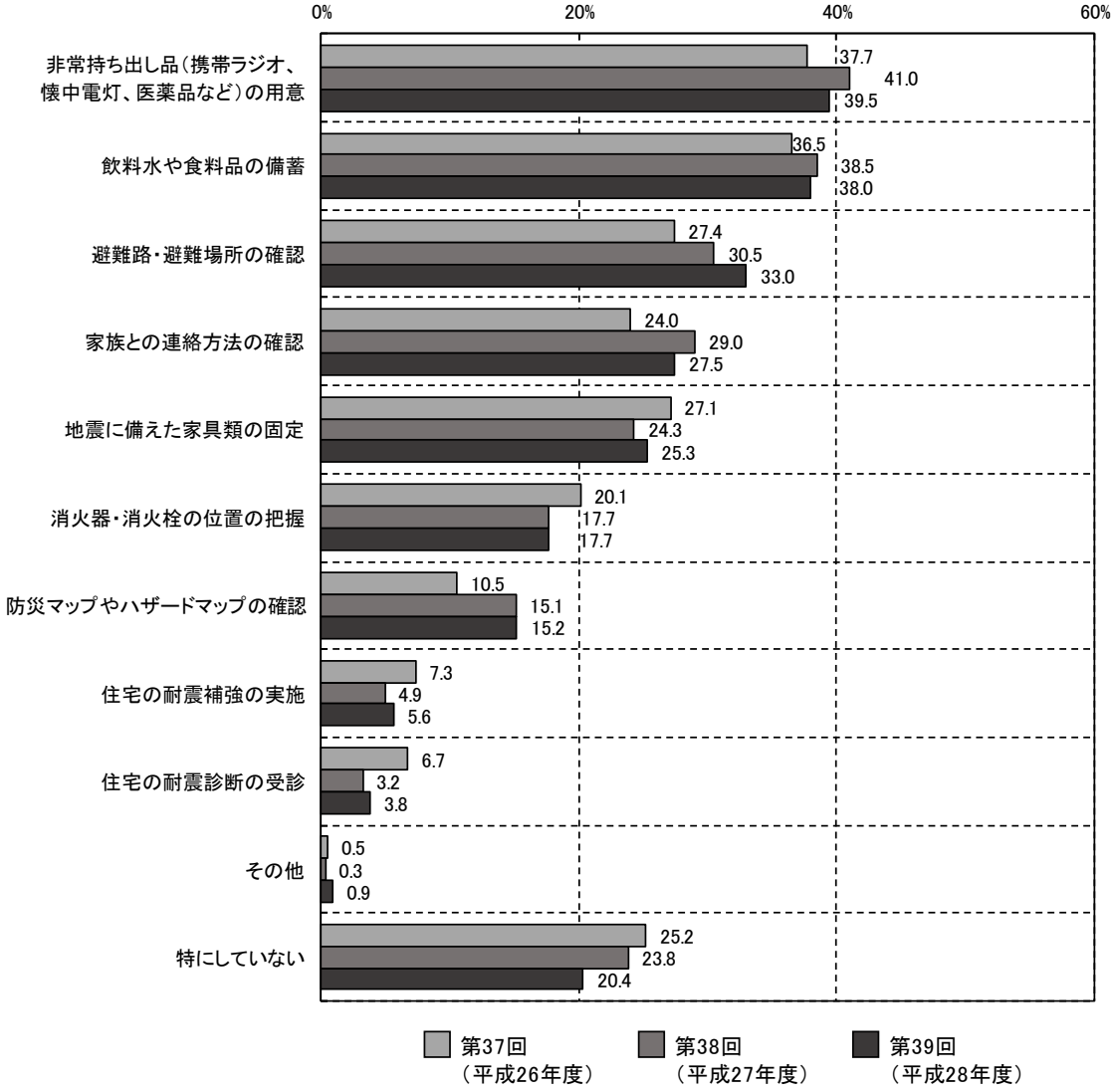
問２８　あなたは、地震や台風などの災害や緊急時に備え、現在どのようなことをしていますか。（いくつでも）

図 28-1　災害や緊急時の現在できている備え



※ ハザードマップ：自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図

図 28-2 【前々回・前回比較】 災害や緊急時の現在できている備え



※ 選択肢、「地震に備えた家具類の固定」は、第 37 回調査では「家具類の固定」
※ 選択肢、「住宅の耐震診断の受診」は、第 37 回調査では「住宅の耐震チェック」
※ 選択肢、「住宅の耐震補強の実施」は、第 37 回調査では「住宅の耐震強化」